

平成28年度第10回藤沢市市政運営の総合指針改定委員会会議

日時 2016年10月27日(木)

政策会議終了後

場所 災害対策本部室

日 程

1 開会

2 議題

- (1) 前回会議の開催結果について(資料1)
- (2) 基本方針・重点方針素案について(資料2)
- (3) 重点事業の状況について(資料3)
- (4) 市民意識調査結果(速報値)について(資料4)
- (5) その他

3 閉会

(事務局 企画政策部企画政策課 内線2175)

平成 28 年度第 9 回市政運営の総合指針改定委員会会議議事概要

1 日時

2016 年 10 月 13 日（木）午前 10 時 55 分～11 時 15 分

2 場所

災害対策本部室

3 議事

(1) 前回会議の開催結果について（資料 1）

後程確認いただき、次回開催までに修正があればお願いしたい。

（質疑等）

なし

(2) 重点方針素案について（資料 2-1, 2-2）

資料 2-1 は修正素案の今回の主な修正点をまとめたものである。前回の意見をもとに複数施策にまたがる共通事項については「取組の前提となる考え方」としてまとめたものである。「まちづくりテーマ」については、総合指針 2016 から継承するものとして「重点項目」の名称を変更するものである。施策体系については、体系のバランスを考慮して、環境、自然環境、教育等の修正を行ったものである。資料 2-2 については、これらの修正を反映したものである。修正意見については、各総務課あてにファイルを送信するので、21 日（金）までにご連絡をお願いしたい。

（質疑等）

なし。

(3) 重点事業の状況について（資料 3-1, 3-2）

資料 3-1 については、10 月 7 日現在の状況であるが、予算編成方針で示したとおり、29 年度については 55 億円、5 年で 550 億円の収支かい離が生じており、解消していない中で、139 事業となっている。当然のことながら重点事業のみであれば枠配額には収まっているが、重点事業以外の政策的事業との兼ね合いで、仮に全政策的事業を重点事業とした場合、枠配額が減少すると、事業進捗に影響を受けてしまうことから、事業選択、事業内容の精査について、29 年度予算の調整と並行してお願いしたい。再整備プラン、スタミ

ナ表とも今後整合を図っていく。次年度以降の事業や公約事業の遺漏がないようをお願いしたい。

(質疑等)

特別会計の取扱についてはいかがか。

- － 前回は事業費は一般会計ベースであったが、重点事業については、特別会計も含めて行く。今後調整する。

(4) Fujisawa つくるカフェの開催結果について (資料4)

10月7日(金)に開催したもので、新採用職員をはじめ、若手・中堅職員を中心とした22名の職員と理事者で、アイデア検討を行ったものである。今年度は「藤沢をデザインする」をメインテーマとして、今回は「重点プロジェクトをデザインする」「人口維持施策をデザインする」の2つの検討テーマをもとにアイデアの発散と集約を行ったものである。

(質疑等)

なし。

(5) その他 (参考資料)

今後のスケジュールについて、参考資料を提出し、説明した。

(質疑等)

なし。

(仮称) 藤沢市市政運営の総合指針 2020 基本方針・重点方針素案

第1章 基本方針

1 策定の背景と意義

総合計画は、長期にわたって総合的かつ計画的に行政運営を進め、より効果的に事業を展開することを目的として策定され、改定を続けてきましたが、現在の社会経済情勢と行財政運営においては、長期的な事業単位までの行政計画の策定は大変難しくなっています。一方で、各分野での個別計画の策定が進むことで計画的な行政運営は定着しています。

こうしたことから、市民ニーズに基づいた課題の緊急性、重要性を捉え、限られた財源を効果的、効率的に配分し、政策効果を高めた事業展開が図られるよう、総合計画に替わる仕組みとして、平成25年度に「藤沢市市政運営の総合指針2016」を策定しました。

この「藤沢市市政運営の総合指針2016」の期間の終了に伴い、これまでの取組や評価、意見等を踏まえ、「藤沢市市政運営の総合指針2020」として改定するものです。

2 構成と期間

この指針は、新たな仕組みとして、喫緊の課題に対応した分かりやすいものとするため、本編と別冊に区分し、また市長任期にあわせたものとします。

(1) 構成

【本編】

指針の本編は、第1章「基本方針」と第2章「重点方針」で構成します。

第1章では、「策定の背景と意義」、「構成と期間」、第2章で示す「重点方針」の前提となる「長期的な視点」としての「目指す都市像」と「基本目標」を明らかにします。

第2章「重点方針」では、「長期的な視点」を踏まえた上で、喫緊に取り組む重点課題を抽出し、その課題に対応する「まちづくりテーマ」、「重点施策」等を示します。

【別冊】

別冊は、重点施策の実現に向けた「重点事業」等を「事業集」として、指針の背景となるデータや見直し時に活用する指標等を「資料集」として、それぞれまとめます。

(2) 期間

この指針の期間は、平成29年度から平成32年度までとします。

以降は、4年ごとに見直し、改定することとします。

3 長期的な視点

藤沢市の現状と課題を踏まえ、概ね20年先を見据えた「長期的な視点」として、「藤沢市市政運営の総合指針2016」における「目指す都市像」と「基本目標」を継承して、次のとおり定めます。

(1) 目指す都市像

藤沢市には、自然、歴史、産業、市民文化等様々な面で強みがあり、市民一人ひとりが、自分の個性にあったライフスタイルや都市の魅力を見つけられる良さがあります。これらは、経済情勢や社会の変化にも柔軟に対応できるということにもつながっています。

こうした藤沢市の特長を生かしながら、市が将来に向け描く都市の姿を「目指す都市像」として位置づけます。

【目指す都市像】

郷土愛あふれる藤沢 ～松風に人の和うるわし 湘南の元気都市～

市民一人ひとりが藤沢市を郷土として心から愛し、生き生きと暮らすことができる都市を目指します。それは、先人たちが積み上げてきた歴史や伝統を誇

りに思い、将来に向かって人の和が藤沢市を築き上げていくことであると考えます。

松風と藤の香りに包まれた都市, 歴史と文化の薫る都市, 産業の栄える都市, 安全で暮らしやすい都市…こうした藤沢市の魅力ある都市の姿を大切にしながら理想の市政を進め, あらゆる元気を創り出す都市を築きます。

(2) 基本目標

「目指す都市像」を実現するために8つの「基本目標」を位置づけます。この基本目標が相互に連携することにより, バランスのとれた都市の姿を維持し, 発展することを目指します。

基本目標は, 藤沢市の現状と課題, 特性等を踏まえた上で, 市の施策, 事業を進めるにあたり, 基本となる方向性を示すものとしします。

【安全な暮らしを守る】

- 市民生活に甚大な被害を及ぼす地震・津波に対しては, 阪神・淡路大震災, 東日本大震災, 熊本地震を教訓とした対策をより充実させる必要があります。
- 都市型の突発的かつ局地的な豪雨や大型台風の発生等, 近年頻発する異常気象に対する風水害対策に取り組む必要があります。
- 手口が巧妙化する振り込め詐欺, 高齢者や自転車をめぐる交通事故, 情報化社会の進展に伴う個人情報への漏えい等の市民生活における様々な不安要因を軽減する取組が求められています。

危機管理を充実させ, 地震・津波災害, 風水害, 都市災害対策への総合的な取組, 消防・救急体制の充実, 業務継続への更なる対応を図るとともに, 地域と連携した防犯活動や交通安全運動, 情報セキュリティの強化等を一層推進することにより, 市民の生命と財産を守り, 不安がなく, 安全で安心な暮らしを実感できる都市を目指します。

【文化・スポーツを盛んにする】

- 藤沢市には, 旧東海道の宿場町, 江の島参詣の地としての歴史があり, ま

た、史跡名勝地や歴史的建造物、祭り等多くの有形・無形の文化財があります。これらの歴史や文化、景観は、藤沢市の財産として次代に、しっかりと保全・継承していく必要があります。

- ライフスタイルの多様化や価値観の変化から、「豊かさ」の尺度が経済的価値から生活の質的価値へと変化してきています。市民の持つ高い文化水準や東京2020オリンピック競技大会・セーリング競技の開催を背景に、市民自らの文化芸術活動、すべての市民の生涯学習・スポーツ活動を支援することにより、豊かさを実感できる暮らしにつなげていく必要があります。

歴史的、文化的な資源、景観を保全・継承し、市民による文化芸術活動や生涯学習・スポーツ活動等をさらに盛んにすることにより、市民一人ひとりが日頃から文化・スポーツを楽しみ、歴史や文化を大切にし、郷土への誇りや愛着を実感できる都市を目指します。

【豊かな環境を創る】

- 美しい湘南海岸や緑豊かな相模野台地とそこに恵みをもたらす2つの河川と谷戸などの自然環境は、藤沢市の貴重な財産です。都市景観の維持向上や温室効果ガスの低減、減災等の観点からも、これらの豊かな自然の保全・継承に努めていく必要があります。
- より一層の海、河川の水環境の保全に向けて、下水道の浸水対策、老朽化対策をはじめとする取組を確実に進める必要があります。
- 豊かな自然環境と様々な地域の資源を次代に継承するため、環境教育の推進を図るとともに、市民との協働による環境美化、環境保全への取組につなげていく必要があります。
- 市民一人ひとりができる取組として、地域における3R^{*}活動をさらに推進し、引き続き廃棄物の減量・資源化や最終処分量の削減に努めるとともに、超高齢社会における市民のごみ排出への負担軽減を図る必要があります。

^{*} 3R Reduce (リデュース：発生抑制), Reuse (リユース：再利用), Recycle (リサイクル：再生利用) の頭文字のRをとったもの。まず、ごみの発生量を減らす (Reduce) ことから始めて、次に使えるものは何回も繰り返し使う (Reuse), そして使えなくなったら原材料として再生利用 (Recycle) するという考え方をいいます。

- 安全・安心なエネルギー対策という点から，再生可能エネルギーやクリーンエネルギーへの関心と導入の機運が高まっており，地球温暖化対策，環境負荷の低減を図るためにも，取組の充実が求められています。

環境に対する意識を高め，良好な自然環境や生活環境を保全し，向上させるとともに，循環型社会形成の推進やエネルギーの地産地消と効率的利用を進めることにより，持続的で豊かな環境を実感できる都市を目指します。

【子どもたちを守り育む】

- 近年，未婚化や晩婚化，出産年齢の上昇等の様々な要因によって，全国的に少子化が進行し続けています。核家族化の進展や地域とのつながりの希薄化から生じる子育てへの負担や不安等の増大は，少子化の要因の一つとなっていることから，こうした不安などの解消に向けた子育て環境の充実が必要となっています。
- 社会の情勢や環境の変化等から，子どもの貧困も大きな課題となっています。生活支援や経済的支援が必要な子どもたちへの対応策を充実するとともに，教育相談体制や教育環境の整備をはじめとする学校教育活動の充実に加え，学校，教育機関，家庭，地域社会の連携が求められています。
- 教育のICT化をはじめ，学校における教育活動の充実を図り，子どもたちが楽しく学びながら，思考力，判断力，表現力等を豊かにし「生きる力」を一層育んでいく必要があります。
- 不登校，ニート，ひきこもり等，子ども・若者を取り巻く問題が深刻化しており，困難を有する若者の社会参加と自立を支援する必要があります。
- 総合教育会議での協議に基づき，教育の根本として定めた「ふじさわ教育大綱」をもとに，地域での支えあいや学びあいと，そこで形成されるネットワークを大切にす取組が求められています。

すべての家庭が安心して子育てができる環境や子どもたち自らが「生きる力」を備える環境を整備するとともに，地域全体で子どもたちを見守り，支えあう社会を構築し，健やかな成長を実感できる都市を目指します。

【健康で安心な暮らしを支える】

- 超高齢社会が進展する中、保健、医療、福祉、介護に対する関心が高まっています。「予防」の視点も踏まえながら健康づくりや健康寿命の延伸に努め、心と体の健康を維持し、地域の自立した生活を送ることへの支援が一層重要となります。
- 「2025年問題」に象徴される社会保障や経済への不安も増大しており、総合的な対策が求められています。
- 日々の生活が安心して続けられるよう、「藤沢型地域包括ケアシステム」による地域で支えあう福祉の仕組みづくりと充実した生活支援サービスの提供を進める必要があります。
- 市民の安心を確保するため、市民病院においては、かかりつけ医と連携を図りながら、救急医療をはじめ、専門的で高度な医療を提供できる体制が求められています。
- 障がいの有無にかかわらず、個人として主体性が尊重され、地域で自立した暮らしができるよう、必要な人に必要なサービスや支援を提供できる体制づくりが求められています。

住み慣れた地域で、生涯を通じて健康で、安心して暮らし続けられるよう、きめ細かな保健、医療、福祉、介護をさらに充実し、健康を増進することにより、健やかで安心な暮らしが実感できる都市を目指します。

【地域経済を循環させる】

- 藤沢市は、これまでの企業誘致の取組や地域に根ざした企業活動等により、活発な地域経済を育む基盤があります。一方で、経済のグローバル化による企業の海外移転等が進む状況を踏まえ、地域経済の活力を維持し、雇用を確保するため、成長産業分野や新産業創出への先駆的かつ先導的な支援、中小企業に対する経営支援等を積極的に進める必要があります。
- 地域の消費経済の更なる活性化の基盤として、また超高齢社会における地域での暮らしを支える基盤として、生活関連サービスの充実や商店街の一層

の振興が重要となります。

- 湘南の中心商業地として発展し続けるため、藤沢駅周辺等の商業機能の強化が求められています。
- 食の安全と安心を高め、生産者と消費者の懸け橋となる地産地消、6次産業化を推進し、厳しい経営環境にある都市農業と水産業を守り育てる必要があります。
- 我が国有数の景勝地である「江の島」を中心とした観光産業は、市内の基幹産業の一つとして成長し、年間観光客数は1,800万人以上となっています。国内外からの誘客をさらに進め、「選ばれる藤沢市」となることで、観光関連産業を維持、発展させる必要があります。

湘南海岸をはじめ、北部の豊かな自然環境、恵まれた交通基盤等の資源を生かし、商業、工業、農水産業、観光等、様々な産業が一体となって地域経済を循環させることにより、市民が活力と魅力を実感できる都市を目指します。

【都市基盤を充実する】

- 藤沢市では6つの都市拠点地区への機能集積を図りながら、拠点を結ぶ鉄道、道路等の整備促進による利便性の向上と自然環境との調和の両立を進めてきています。これからも、都市の活力と人口を維持するため、「藤沢駅周辺地区」の再整備をはじめとする都市拠点の充実と更なる活性化に向けた取組が求められています。
- 交通アクセスの向上等の都市基盤の整備にあたっては、環境負荷を低減することや、超高齢社会における移動の円滑化が求められています。
- 高度経済成長期に整備された道路、河川、下水道等の都市基盤施設や公共建築物は、老朽化対策、超高齢社会に対応した機能の充実・強化、規模の適正化等が必要となります。
- 超高齢化、人口減少、国際化、情報化の進展等に対応した住みよい都市の形成の視点から、豊かで安定した住生活環境の確保が求められています。

これまでに設置した都市基盤施設について長寿命化を含めた再整備をさらに

進めるとともに、将来にわたって都市の活力を維持するための新たな基盤整備と土地利用を促進することにより、都市としての優位性を高め、便利で快適な生活を実感できる都市を目指します。

【市民自治・地域づくりを進める】

- 藤沢市では、「市民集会」にはじまり、「郷土づくり推進会議」に至る先進的な市民の市政参画、市民自治の取組が進められてきました。今後もこれらの経験や実績を生かし、さらに市民との協働による市政運営を一層進めていくことが必要となります。
- 地域では自治会・町内会をはじめとする様々な活動団体によって、市民生活に根ざした取組が積極的に進められています。今後も超高齢化や単身世帯の増加等による地域のコミュニティの希薄化が懸念されていることから、地域を支える担い手を育成し、多様な活動をさらに促進していくことが求められています。
- 市民によるボランティア、市民団体、NPO法人等の活動も盛んに行われ、魅力や特色を生かした地域づくりが展開されている中で、市、市民、団体等の多様な主体が目的や意識等を共有し、マルチパートナーシップのもとに取組をさらに充実させていくことが重要となります。
- 一人ひとりの人権を尊重し、あらゆる人が共同してつくる平和な社会の実現に向けて、市民、地域社会の質的な成熟を目指していく必要があります。

市民の市政参画と市民自治を時代に即した形で発展させ、市民活動と地域づくりをさらに充実させることにより、市民が中心となったまちづくりを実感できる都市を目指します。

第2章 重点方針

「第1章 基本方針」においては、総合計画に替わるこの指針の意義と構成、重点方針の前提となる「長期的な視点」を位置づけてきました。そのうち「長期的な視点」については、「目指す都市像」と「基本目標」を示し、これから20年程度の期間の中で、すべての事務事業において共通して目指すべき方向性と目標を明らかにしました。

「第2章 重点方針」においては、この「長期的な視点」を踏まえ、喫緊に取り組む重点課題を抽出、整理し、「まちづくりテーマ」として設定するとともに、「まちづくりテーマ」に対応する「重点施策」を位置づけます。

なお、「重点施策」に基づく「重点事業」は、別冊の『事業集』に位置づけます。

1 取組の考え方

重点施策の実現に向けて、取組の考え方を示します。

また、この考え方は、重点施策、重点事業だけでなく、計画期間において、すべての事業の共通の価値観、方向性とすることで、取組の効果と効率性を高めます。

(1) マルチパートナーシップの推進

市民、市民団体をはじめ、大学などの教育機関、県や他市町村といった行政機関、企業などの民間機関は、地域で様々な取組を進めています。

少子超高齢社会、人口減少社会に向けては、これらの主体的な取組と役割を認め、尊重するとともに、協働に取り組む必要があります。

マルチパートナーシップとはこうした役割と協働の姿であり、多様な主体が市民生活における暮らしやすさや藤沢への誇りなどの目標を共有し、更に連携を深めるよう一層の推進を図ります。

(2) 地域福祉の充実と地域の拠点形成

少子超高齢社会、人口減少社会では、子どもから高齢者、障がい者、生活困窮者も含め、誰もが住み慣れた地域で、その人らしく安心して暮らし続けることが

できるよう、「支えあいの地域づくり」を進めることが重要になってきます。

また、藤沢市では市民センター・公民館を中心とする13地区を行政区域としており、地域の特性を活かしながら、主体的な市民活動が行われてきました。

こうしたことから、市民や地域で活動する団体・関係機関等の多様な主体と行政が協働し、市全域といった広域的な視点からの「地域の取組を支える体制づくり」と市民センター・公民館を中心とする「地域特性を活かした支えあいの地域づくり」を進めていく「藤沢型地域包括ケアシステム」を推進することが重要となります。

この「藤沢型地域包括ケアシステム」の仕組みを前提に、都市基盤をはじめ、文化、地域経済、環境など、生活者の視点から多角的に取組を進めるとともに、13地区における相談、サービスの拠点形成と機能の充実を図ります。

③ 横断的連携

庁内各部がそれぞれ個別に施策に取り組むだけでなく、一つの課題に対して複数の部・局が横断的に取り組む中で、施策の方向性をあわせ、目的を共有することにより、施策の効果や取り組む事業の効率性を高めていきます。

2 まちづくりテーマ

長期的な視点を踏まえながら、市民意識の分析結果や「2025年問題」における概括的課題、市長公約等をもとに、緊急かつ重点的に取り組む課題として、重点項目とその方向性を整理します。

(1) 安全で安心な暮らしを築く

市民の安全な暮らしを守るため、地震、津波、風水害、都市災害をはじめ、交通事故や犯罪、テロなど、市民の生命と財産、生活を脅かすリスクを低減するとともに、事前の防災や減災、災害早期の初動体制にも対応し、災害や危機に強い~~な~~なやかなまちづくりを推進する必要があります。

② 「2020年」に向けてまちの魅力を創出する

地域の活性化や~~自然環境の保全~~、~~新たな価値の創出等~~により市民生活の豊かさを醸成するため、東京2020オリンピック・パラリンピックを好機と捉え、スポーツ文化の定着やボランティアの促進、観光関連産業の振興、都市の魅力づくり、国際交流と多文化共生の推進等に取り組む必要があります。

③ 笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる

次代を担う子どもたちの心身の健康と「生きる力」を育むため、妊娠期からの各段階に応じた子育て支援や教育環境の整備を推進するとともに、~~保育、教育、放課後児童の居場所、貧困の連鎖等の課題に対応するよう子育て環境を充実し、少子化に歯止めをかけていくとともに、貧困の連鎖を断ち切るための子どもの貧困対策の推進~~やニートなど困難を有する若者の社会参加や自立を支援していく必要があります。

④ 健康で豊かな長寿社会をつくる

超高齢化が進展する中で、すべての市民が健康で生きがいを持ち、住み慣れた地域でいつまでも元気に暮らすことができるよう、在宅医療、在宅介護を充実するとともに、健康寿命日本一を目指した取組を進め、豊かな長寿社会を構築する必要があります。

また、こうした取組の礎となる~~生活上の関わりや交流を深め~~、「人と人とのつながり」を大切にする支えあいの地域づくりを一層推進する必要があります。

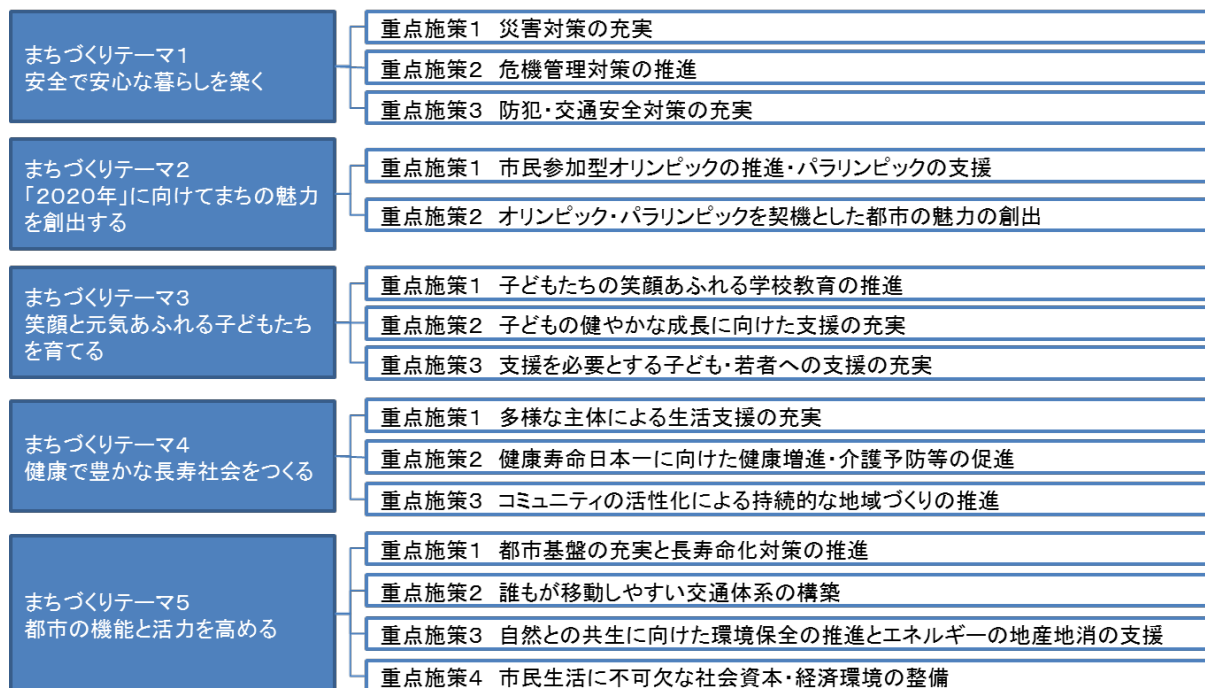
⑤ 都市の機能と活力を高める

都市としての持続性を維持しながら藤沢の魅力や活力を高めるため、新たな基盤形成や都市施設の長寿命化、更新を計画的に進める必要があります。

また、市民生活に欠かすことのできない自然環境との共生や居住環境の維持保全、市民が移動しやすい環境の整備、地域経済の循環の拡充を進める必要があります。

3 重点施策

まちづくりテーマに基づき、計画期間において特に重点的に取り組む施策を示します。



まちづくりテーマ1

「安全で安心な暮らしを築く」

地震、津波、風水害、都市災害をはじめ、交通事故や犯罪、テロなどへの対策を充実するとともに、事前の防災や減災にも対応するまちづくりを推進します。

(1) 災害対策の充実

市民の生命、財産を守るため、災害リスクを認識した防災、減災の視点から、地震・津波対策、風水害対策、土砂災害対策、防災備蓄・防災機能の強化を推進します。【総務部、計画建築部、都市整備部、土木部、消防局】

(想定重点事業)

- 防災設備等整備事業
- 公園事業
- 緑地改修事業
- 建築物等防災対策事業
- 橋りょう改修事業
- 橋りょう架替事業
- 大規模震災等対策強化事業

② 危機管理対策の推進

災害対策だけでなく、国際化が急速に進展する中で、市民生活における健康や環境など、様々な脅威に対応するため健康、環境、紛争などの様々な点で市民生活に脅威を与える危機の恐れがあるため、危機管理対策を推進します。さらに、東京2020オリンピック・セーリング会場としてテロ防止対策、消防救急体制の強化に取り組みます。【総務部、市民病院、消防局】

(想定重点事業)

- 危機管理対策推進事業
- 市民病院事業
- 大規模震災等対策強化事業
- サイバーテロ対策事業

③ 防犯・交通安全対策の充実

地域や商店街での犯罪を抑止する環境整備として、地域、商店街、不法投棄重点監視箇所への防犯カメラの増設を支援します。また、交通安全対策として、自転車を中心に交通ルール・マナーの啓発に取り組むとともに、歩道と自転車の利用環境の整備を推進します。超高齢社会における歩行者、自転車の交通安全を中心に、歩道と自転車の利用環境の整備とルール・マナーの啓発に向けた取組を推進します。【市民自治部、都市整備部、土木部】

(想定重点事業)

- 街頭防犯カメラ設置推進事業
- 長後地区整備事業
- 自転車利用環境整備事業

まちづくりテーマ2

『2020年』に向けてまちの魅力を創出する」

東京2020オリンピック・パラリンピックに多くの市民が関わり、希望や元気を得て、都市の途切れることのない持続的な活力となるよう、スポーツ、ボランティア、観光関連産業の振興、都市の魅力づくり、国際交流と多文化共生の推進等の取組を推進します。また、オリンピックレガシーの創出の成果となる持続的な都市の発展に向けて、多様な魅力の創造、発信にと自然環境、生活環境の視点から重点的に取り組みます。

(1) 市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援

東京2020オリンピック・パラリンピックを市民一人ひとりが実感、共感をもって迎えられるよう、「見る」「楽しむ」「応援する」「支える」といった市民参加の取組を推進します。また、この機会を踏まえ、市民ボランティア活動のすそ野を広げる取組を推進します。【企画政策部、生涯学習部、~~環境部~~】

(想定重点事業)

- オリンピック開催準備関係事業 ○都市親善事業
- ビーチバレー大会開催関係事業
- (公財)藤沢市みらい創造財団スポーツ関係事業 (オリンピック・パラリンピック関連事業)

(2) オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出

東京2020オリンピック・パラリンピックの経験や感動を藤沢市の魅力や価値として継承していくため、~~周辺都市~~都市環境の整備や教育、文化芸術活動を推進します。また、年間観光客2,000万人の実現を目指し、東京2020オリンピック・パラリンピックを見据えた観光誘客を推進します。【企画政策部、生涯学習部、経済部、計画建築部、教育部】

(想定重点事業)

- 江の島地区周辺整備事業 ○シティプロモーション推進事業
- 誘客宣伝事業 ○湘南藤沢フィルム・コミッション事業
- 旧東海道藤沢宿活性化推進事業
- 郷土文化推進事業(ふじさわ宿交流館、藤澤浮世絵館の運営)
- 文化行事事業 ○(公財)藤沢市みらい創造財団芸術文化関係事業
- アートスペース運営管理事業

まちづくりテーマ3

「笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる」

次代を担う子どもたちの心身の健康と「生きる力」を育むため、妊娠期からの各段階に応じた子育て支援や教育環境の整備を推進します。学校教育の充実をも

~~とより、乳幼児期、学齢期における課題に対応するよう子育て環境を充実すること~~
~~とで、少子化に歯止めをかけていく取組を推進します。また、貧困の連鎖を断ち~~
~~切るための子どもの貧困対策を推進するとともに子どもや若者が社会での役割を~~
~~実感し、自立した生活を送ることができるようニートなど困難を有する若者の社~~
~~会参加や自立を支援する取組を進めます。~~

(1) 子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進

様々な課題を抱えた子どもたち一人ひとりのニーズに応え、ともに学び、ともに育つ学校教育を推進します。また、豊かな心、確かな学力、健やかな体を育むための学校教育を目指すとともに、新たな学びの環境を充実します。【教育部】

(想定重点事業)

- 児童支援体制充実事業
- 中学校給食運営管理事業
- 中学校給食施設整備事業
- 教育情報機器整備事業
- 校務支援システム構築事業

(2) 子どもの健やかな成長に向けた支援の充実

安心して子育てができるよう、子どもの健やかな成長と子育て家庭のそれぞれの状況に応じた支援の充実を図ります。【子ども青少年部】

(想定重点事業)

- 市立保育所整備事業
- 法人立保育所施設整備助成事業
- 藤沢型認定保育施設補助事業
- ~~○届出保育施設認可化促進事業~~
- 放課後児童クラブ整備事業
- 母子保健事業
- 小児医療助成事業

(3) 支援を必要とする子ども・若者への支援の充実

社会の複雑化や多様化等により子どもたちを取り巻く環境が大きく変化し、子どもの貧困やニート、ひきこもり等、困難を有する子ども・若者の増加が大きな課題となっていることから、総合的な相談体制や生活支援、経済的支援等の取組を充実します。【福祉部，子ども青少年部，経済部，教育部】

(想定重点事業)

- 子ども・若者自立支援事業
- 生活困窮者自立支援事業

まちづくりテーマ4

「健康で豊かな長寿社会をつくる」

超高齢社会が進展する中で、すべての市民の健康と生きがい、安心な暮らしを築くため、藤沢型地域包括ケアシステムによる支えあいの地域づくりや在宅医療、在宅介護の充実を推進するとともに、住み慣れた地域でいつまでも元気に暮らすため、健康寿命日本一を目指し、市民一人ひとりの尊厳ある生活に基づく豊かな長寿社会を実現します。また、自治会・町内会をはじめ、様々な主体と連携し、人と人とのつながりを大切にする地域づくりを推進します。

(1) 多様な主体による生活支援の充実

藤沢型地域包括ケアシステムのもとに、高齢者、障がい者をはじめ、すべての市民の生きがいづくり、支えあいのネットワークづくりなどにつながるよう、多様な主体による生活支援を充実します。【福祉部、保健医療部】

(想定重点事業)

- 介護人材育成支援事業 (介護ロボット導入促進事業)
- 生活支援体制整備事業
- 藤沢型地域包括ケアシステム推進事業
- 地域生活支援事業 (障がい者相談支援事業)
- 生活困窮者自立支援事業 ○福祉総合相談支援事業
- 地域包括支援センター運営事業 ○在宅医療・介護連携推進事業
- 認知症施策推進事業
- ~~○介護ロボット導入促進事業 ○地域支援事業 (介護保険事業)~~
- 介護予防・生活支援サービス事業 (介護保険事業)
- 一般介護予防事業 (介護保険事業)

(2) 健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進

健康寿命日本一に向けて、健康増進や認知症予防に取り組むとともに、若い世代からの~~受動喫煙防止~~、生活習慣の見直しや受動喫煙防止などの環境整備を進め

ます。【生涯学習部，保健医療部，都市整備部】

(想定重点事業)

- 認知症予防事業 ○健康づくり推進事業
- 公園における健康遊具の充実と活用の促進事業
- 禁煙・受動喫煙防止対策事業
- (公財)藤沢市みらい創造財団スポーツ関係事業 (体力づくり推進事業)

③ コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進

多様な主体が協力しながら役割を担って果たしていく支えあいの地域社会を推進するため，市民団体，NPO等の活動を支援し，行政との協働事業を推進します。また，地域の活性化を図るため，自治会・町内会をはじめとする地域団体の支援や，地域人材の育成，各地区の地域まちづくりを推進します。【市民自治部，生涯学習部】

(想定重点事業)

- 公民館運營業務 ○地域コミュニティ活性化推進事業
- 市民活動支援施設運営管理事業 ○公益的市民活動助成事業
- 市民協働推進関係事業 ○地域コミュニティ拠点施設整備支援事業
- 地域の縁側事業 ○市民憲章推進事業
- (仮称)まちのコンシェルジュ支援事業
- 郷土づくり推進会議関係事業 ○六会地区まちづくり事業
- 片瀬地区地域まちづくり事業 ○明治地区まちづくり事業
- 御所見地区地域まちづくり事業 ○遠藤まちづくり推進事業
- 長後地域活性化事業 ○辻堂地区地域まちづくり事業
- 善行地区まちづくり事業 ○湘南大庭地域まちづくり事業
- 湘南台地域まちづくり事業 ○鵠沼地区まちづくり事業
- 藤沢地区まちづくり事業 ○村岡いきいきまちづくり事業

まちづくりテーマ5

「都市の機能と活力を高める」

~~住みたく，~~暮らしやすい藤沢と魅力ある地域を創造するため，ハード，ソフト

両面からの社会基盤の整備を進め、都市としての持続性と活力を高める取組を推進します。特に、都市基盤の長寿命化や更新を進め、老朽化に対応する取組を充実します。

(1) 都市基盤の充実と長寿命化対策の推進

少子超高齢社会への対応や総人口の維持に向けて、自然と調和しつつ市民生活と市内経済を支える都市基盤の充実を図るため、都市拠点の形成、公共施設等の再整備を推進します。【企画政策部、市民自治部、環境部、経済部、計画建築部、都市整備部、土木部、教育部】

(想定重点事業)

- 健康と文化の森整備事業~~西北部総合整備事業~~ ○新産業の森整備事業
- 都市マスタープラン改定事業 ○北部第二（三地区）土地区画整理事業
- 藤沢駅周辺地区再整備事業
- 市道藤沢652号線の整備事業(都市計画道路藤沢石川線)
- 市道新設改良（バリアフリー化）の推進事業
- 道路安全対策事業 ○道路改修舗装事業
- （仮称）道路施設の老朽化対策事業（長寿命化）
- （公共施設再整備短期プラン事業）
- 庁舎等整備事業
- 労働会館整備事業 ○善行市民センター改築事業
- 辻堂市民センター改築事業 ○一般廃棄物中間処理施設整備事業
- 地域市民の家維持管理事業 ○市民センター・公民館整備計画策定事業
- （仮称）藤沢市下水道長寿命化事業
- 学校施設の再整備・長寿命化事業

(2) 誰もが移動しやすい交通体系の構築

高齢者や障がい者をはじめ、誰もが移動しやすい交通体系の構築を目指し、「藤沢市交通マスタープラン」等に基づき、拠点間だけでなく、~~地区内を~~区域とネットワークする交通環境づくりを推進します。【計画建築部】

(想定重点事業)

○総合交通体系推進事業（いずみ野線延伸事業）

○公共交通の利便性向上事業

③ 自然との共生に向けた環境保全の推進とエネルギーの地産地消の支援

豊かな自然と共生する社会の実現に向けて，三大谷戸の保全をはじめとする取組を進め，都市の持続的発展に向けた環境の保全を推進するとともに，市民主体のエネルギーの地産地消の仕組みづくりに向けた支援を行います。【環境部，都市整備部】

○環境啓発事業 ○石川丸山緑地保全事業 ○自然環境共生推進事業

○健康の森保全再生整備事業 ○地球温暖化対策関係事業

④ 市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備

社会共通資本としての都市基盤だけでなく，生活に密着した経済的資本などを活性化するため，住環境や商店街，新産業等の経済環境の整備を推進します。【経済部，計画建築部，都市整備部】

（想定重点事業）

○ロボット産業推進事業 ○新産業創出事業

○地域密着型商業まちづくり支援事業 ○担い手育成支援事業

○住宅マスタープラン等策定検討事業

4 重点施策実現に向けた財政見通し

重点施策を実現するための財政見通しとして，この指針の期間における歳入は，地方税の制度改正などからわずかな減少を見込んでおり，その後の更なる市税収入の減少等を考慮すると，増収に寄与する的確な都市の基盤整備への投資や基金の一層の活用などによる将来的な財源確保が必要となります。

一方，扶助費の継続的な増加や公共施設の老朽化対策等が見込まれるため，歳出においては，経常事業，継続事業について，より効率的な予算執行と計画的な事業運営を進めながら，重点施策の実現を図る必要があります。

これらの状況を踏まえた一般会計（事業費ベース）の歳入歳出の見通しとして，

表1は歳入見込として市税をはじめとする自主財源と依存財源の見込を表しています。

表1 歳入の状況

(単位:千円)

(歳入見込)	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
自主財源計					
市税					
その他					
依存財源計					
地方譲与税等					
地方消費税交付金					
国庫支出金					
県支出金					
その他					
合計 ①					

表2は歳出見込であり、人件費や生活保護法、児童福祉法などに基づく経済的援助などの扶助費、借入金を返済するための経費である公債費からなる義務的経費とその他毎年度持続して固定的に支出される経費を合計して経常的経費として集計しています。

この経常的経費を歳入見込額から差し引いた額が政策的経費充当可能財源であり、重点施策を実現するために充てられる額の上限となります。

また、重点事業費を確保する取組として行財政改革と密接に連携し、効果額を反映させていくとともに、公共施設再整備短期プランや重点事業以外の普通建設事業の中期見込みについても整合を図ります。

表2 歳出の状況

(単位:千円)

(歳出見込)	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
経常的経費計 ②					
義務的経費					
人件費					
扶助費					
公債費					
その他					
政策的経費投入可能財源 ③(①-②)					

5 評価

重点施策の評価は指標を設定し、市民満足度をはじめとする「市民意識調査」により行います。また、重点事業の評価は、事務事業評価と連動して実施し、その中で事業の効率性を高め、適切な改善を図るとともに、確実な進捗管理を行います。

6 重点施策の実現に向けた重点事業

重点施策の実現を図るための個別の取組は、「重点事業」として重点施策ごとにまとめ、別冊の「事業集」に示します。

重点事業は、まちづくりテーマと重点施策の実現を図ることを目的として、指針の期間において重点的に取り組む事業となります。経常的、継続的に実施する事業と異なり、事業費、人的コストの重点的な投入や事業の組織横断的な検討実施等により取り組みます。

(仮称) 藤沢市市政運営の総合指針 2020 基本方針・重点方針素案

第1章 基本方針

1 策定の背景と意義

総合計画は、長期にわたって総合的かつ計画的に行政運営を進め、より効果的に事業を展開することを目的として策定され、改定を続けてきましたが、現在の社会経済情勢と行財政運営においては、長期的な事業単位までの行政計画の策定は大変難しくなっています。一方で、各分野での個別計画の策定が進むことで計画的な行政運営は定着しています。

こうしたことから、市民ニーズに基づいた課題の緊急性、重要性を捉え、限られた財源を効果的、効率的に配分し、政策効果を高めた事業展開が図られるよう、総合計画に替わる仕組みとして、平成25年度に「藤沢市市政運営の総合指針2016」を策定しました。

この「藤沢市市政運営の総合指針2016」の期間の終了に伴い、これまでの取組や評価、意見等を踏まえ、「藤沢市市政運営の総合指針2020」として改定するものです。

2 構成と期間

この指針は、新たな仕組みとして、喫緊の課題に対応した分かりやすいものとするため、本編と別冊に区分し、また市長任期にあわせたものとします。

(1) 構成

【本編】

指針の本編は、第1章「基本方針」と第2章「重点方針」で構成します。

第1章では、「策定の背景と意義」、「構成と期間」、第2章で示す「重点方針」の前提となる「長期的な視点」としての「目指す都市像」と「基本目標」を明らかにします。

第2章「重点方針」では、「長期的な視点」を踏まえた上で、喫緊に取り組む重点課題を抽出し、その課題に対応する「まちづくりテーマ」、「重点施策」等を示します。

【別冊】

別冊は、重点施策の実現に向けた「重点事業」等を「事業集」として、指針の背景となるデータや見直し時に活用する指標等を「資料集」として、それぞれまとめます。

(2) 期間

この指針の期間は、平成29年度から平成32年度までとします。

以降は、4年ごとに見直し、改定することとします。

3 長期的な視点

藤沢市の現状と課題を踏まえ、概ね20年先を見据えた「長期的な視点」として、「藤沢市市政運営の総合指針2016」における「目指す都市像」と「基本目標」を継承して、次のとおり定めます。

(1) 目指す都市像

藤沢市には、自然、歴史、産業、市民文化等様々な面で強みがあり、市民一人ひとりが、自分の個性にあったライフスタイルや都市の魅力を見つけられる良さがあります。これらは、経済情勢や社会の変化にも柔軟に対応できるということにもつながっています。

こうした藤沢市の特長を生かしながら、市が将来に向け描く都市の姿を「目指す都市像」として位置づけます。

【目指す都市像】

郷土愛あふれる藤沢 ～松風に人の和うるわし 湘南の元気都市～

市民一人ひとりが藤沢市を郷土として心から愛し、生き生きと暮らすことができる都市を目指します。それは、先人たちが積み上げてきた歴史や伝統を誇

りに思い、将来に向かって人の和が藤沢市を築き上げていくことであると考えます。

松風と藤の香りに包まれた都市, 歴史と文化の薫る都市, 産業の栄える都市, 安全で暮らしやすい都市…こうした藤沢市の魅力ある都市の姿を大切にしながら理想の市政を進め, あらゆる元気を創り出す都市を築きます。

(2) 基本目標

「目指す都市像」を実現するために8つの「基本目標」を位置づけます。この基本目標が相互に連携することにより, バランスのとれた都市の姿を維持し, 発展することを目指します。

基本目標は, 藤沢市の現状と課題, 特性等を踏まえた上で, 市の施策, 事業を進めるにあたり, 基本となる方向性を示すものとしします。

【安全な暮らしを守る】

- 市民生活に甚大な被害を及ぼす地震・津波に対しては, 阪神・淡路大震災, 東日本大震災, 熊本地震を教訓とした対策をより充実させる必要があります。
- 都市型の突発的かつ局地的な豪雨や大型台風の発生等, 近年頻発する異常気象に対する風水害対策に取り組む必要があります。
- 手口が巧妙化する振り込め詐欺, 高齢者や自転車をめぐる交通事故, 情報化社会の進展に伴う個人情報漏えい等の市民生活における様々な不安要因を軽減する取組が求められています。

危機管理を充実させ, 地震・津波災害, 風水害, 都市災害対策への総合的な取組, 消防・救急体制の充実, 業務継続への更なる対応を図るとともに, 地域と連携した防犯活動や交通安全運動, 情報セキュリティの強化等を一層推進することにより, 市民の生命と財産を守り, 不安がなく, 安全で安心な暮らしを実感できる都市を目指します。

【文化・スポーツを盛んにする】

- 藤沢市には, 旧東海道の宿場町, 江の島参詣の地としての歴史があり, ま

た、史跡名勝地や歴史的建造物、祭り等多くの有形・無形の文化財があります。これらの歴史や文化、景観は、藤沢市の財産として次代に、しっかりと保全・継承していく必要があります。

- ライフスタイルの多様化や価値観の変化から、「豊かさ」の尺度が経済的価値から生活の質的価値へと変化してきています。市民の持つ高い文化水準や東京2020オリンピック競技大会・セーリング競技の開催を背景に、市民自らの文化芸術活動、すべての市民の生涯学習・スポーツ活動を支援することにより、豊かさを実感できる暮らしにつなげていく必要があります。

歴史的、文化的な資源、景観を保全・継承し、市民による文化芸術活動や生涯学習・スポーツ活動等をさらに盛んにすることにより、市民一人ひとりが日頃から文化・スポーツを楽しみ、歴史や文化を大切にし、郷土への誇りや愛着を実感できる都市を目指します。

【豊かな環境を創る】

- 美しい湘南海岸や緑豊かな相模野台地とそこに恵みをもたらす2つの河川と谷戸などの自然環境は、藤沢市の貴重な財産です。都市景観の維持向上や温室効果ガスの低減、減災等の観点からも、これらの豊かな自然の保全・継承に努めていく必要があります。
- より一層の海、河川の水環境の保全に向けて、下水道の浸水対策、老朽化対策をはじめとする取組を確実に進める必要があります。
- 豊かな自然環境と様々な地域の資源を次代に継承するため、環境教育の推進を図るとともに、市民との協働による環境美化、環境保全への取組につなげていく必要があります。
- 市民一人ひとりができる取組として、地域における3R^{*}活動をさらに推進し、引き続き廃棄物の減量・資源化や最終処分量の削減に努めるとともに、超高齢社会における市民のごみ排出への負担軽減を図る必要があります。

^{*} 3R Reduce (リデュース：発生抑制), Reuse (リユース：再利用), Recycle (リサイクル：再生利用) の頭文字のRをとったもの。まず、ごみの発生量を減らす (Reduce) ことから始めて、次に使えるものは何回も繰り返し使う (Reuse), そして使えなくなったら原材料として再生利用 (Recycle) するという考え方をいいます。

- 安全・安心なエネルギー対策という点から，再生可能エネルギーやクリーンエネルギーへの関心と導入の機運が高まっており，地球温暖化対策，環境負荷の低減を図るためにも，取組の充実が求められています。

環境に対する意識を高め，良好な自然環境や生活環境を保全し，向上させるとともに，循環型社会形成の推進やエネルギーの地産地消と効率的利用を進めることにより，持続的で豊かな環境を実感できる都市を目指します。

【子どもたちを守り育む】

- 近年，未婚化や晩婚化，出産年齢の上昇等の様々な要因によって，全国的に少子化が進行し続けています。核家族化の進展や地域とのつながりの希薄化から生じる子育てへの負担や不安等の増大は，少子化の要因の一つとなっていることから，こうした不安などの解消に向けた子育て環境の充実が必要となっています。
- 社会の情勢や環境の変化等から，子どもの貧困も大きな課題となっています。生活支援や経済的支援が必要な子どもたちへの対応策を充実するとともに，教育相談体制や教育環境の整備をはじめとする学校教育活動の充実に加え，学校，教育機関，家庭，地域社会の連携が求められています。
- 教育のICT化をはじめ，学校における教育活動の充実を図り，子どもたちが楽しく学びながら，思考力，判断力，表現力等を豊かにし「生きる力」を一層育んでいく必要があります。
- 不登校，ニート，ひきこもり等，子ども・若者を取り巻く問題が深刻化しており，困難を有する若者の社会参加と自立を支援する必要があります。
- 総合教育会議での協議に基づき，教育の根本として定めた「ふじさわ教育大綱」をもとに，地域での支えあいや学びあいと，そこで形成されるネットワークを大切にする取組が求められています。

すべての家庭が安心して子育てができる環境や子どもたち自らが「生きる力」を備える環境を整備するとともに，地域全体で子どもたちを見守り，支えあう社会を構築し，健やかな成長を実感できる都市を目指します。

【健康で安心な暮らしを支える】

- 超高齢社会が進展する中、保健、医療、福祉、介護に対する関心が高まっています。「予防」の視点も踏まえながら健康づくりや健康寿命の延伸に努め、心と体の健康を維持し、地域の自立した生活を送ることへの支援が一層重要となります。
- 「2025年問題」に象徴される社会保障や経済への不安も増大しており、総合的な対策が求められています。
- 日々の生活が安心して続けられるよう、「藤沢型地域包括ケアシステム」による地域で支えあう福祉の仕組みづくりと充実した生活支援サービスの提供を進める必要があります。
- 市民の安心を確保するため、市民病院においては、かかりつけ医と連携を図りながら、救急医療をはじめ、専門的で高度な医療を提供できる体制が求められています。
- 障がいの有無にかかわらず、個人として主体性が尊重され、地域で自立した暮らしができるよう、必要な人に必要なサービスや支援を提供できる体制づくりが求められています。

住み慣れた地域で、生涯を通じて健康で、安心して暮らし続けられるよう、きめ細かな保健、医療、福祉、介護をさらに充実し、健康を増進することにより、健やかで安心な暮らしが実感できる都市を目指します。

【地域経済を循環させる】

- 藤沢市は、これまでの企業誘致の取組や地域に根ざした企業活動等により、活発な地域経済を育む基盤があります。一方で、経済のグローバル化による企業の海外移転等が進む状況を踏まえ、地域経済の活力を維持し、雇用を確保するため、成長産業分野や新産業創出への先駆的かつ先導的な支援、中小企業に対する経営支援等を積極的に進める必要があります。
- 地域の消費経済の更なる活性化の基盤として、また超高齢社会における地域での暮らしを支える基盤として、生活関連サービスの充実や商店街の一層

の振興が重要となります。

- 湘南の中心商業地として発展し続けるため、藤沢駅周辺等の商業機能の強化が求められています。
- 食の安全と安心を高め、生産者と消費者の懸け橋となる地産地消、6次産業化を推進し、厳しい経営環境にある都市農業と水産業を守り育てる必要があります。
- 我が国有数の景勝地である「江の島」を中心とした観光産業は、市内の基幹産業の一つとして成長し、年間観光客数は1,800万人以上となっています。国内外からの誘客をさらに進め、「選ばれる藤沢市」となることで、観光関連産業を維持、発展させる必要があります。

湘南海岸をはじめ、北部の豊かな自然環境、恵まれた交通基盤等の資源を生かし、商業、工業、農水産業、観光等、様々な産業が一体となって地域経済を循環させることにより、市民が活力と魅力を実感できる都市を目指します。

【都市基盤を充実する】

- 藤沢市では6つの都市拠点地区への機能集積を図りながら、拠点を結ぶ鉄道、道路等の整備促進による利便性の向上と自然環境との調和の両立を進めてきています。これからも、都市の活力と人口を維持するため、「藤沢駅周辺地区」の再整備をはじめとする都市拠点の充実と更なる活性化に向けた取組が求められています。
- 交通アクセスの向上等の都市基盤の整備にあたっては、環境負荷を低減することや、超高齢社会における移動の円滑化が求められています。
- 高度経済成長期に整備された道路、河川、下水道等の都市基盤施設や公共建築物は、老朽化対策、超高齢社会に対応した機能の充実・強化、規模の適正化等が必要となります。
- 超高齢化、人口減少、国際化、情報化の進展等に対応した住みよい都市の形成の視点から、豊かで安定した住生活環境の確保が求められています。

これまでに設置した都市基盤施設について長寿命化を含めた再整備をさらに

進めるとともに、将来にわたって都市の活力を維持するための新たな基盤整備と土地利用を促進することにより、都市としての優位性を高め、便利で快適な生活を実感できる都市を目指します。

【市民自治・地域づくりを進める】

- 藤沢市では、「市民集会」にはじまり、「郷土づくり推進会議」に至る先進的な市民の市政参画、市民自治の取組が進められてきました。今後もこれらの経験や実績を生かし、さらに市民との協働による市政運営を一層進めていくことが必要となります。
- 地域では自治会・町内会をはじめとする様々な活動団体によって、市民生活に根ざした取組が積極的に進められています。今後も超高齢化や単身世帯の増加等による地域のコミュニティの希薄化が懸念されていることから、地域を支える担い手を育成し、多様な活動をさらに促進していくことが求められています。
- 市民によるボランティア、市民団体、NPO法人等の活動も盛んに行われ、魅力や特色を生かした地域づくりが展開されている中で、市、市民、団体等の多様な主体が目的や意識等を共有し、マルチパートナーシップのもとに取組をさらに充実させていくことが重要となります。
- 一人ひとりの人権を尊重し、あらゆる人が共同してつくる平和な社会の実現に向けて、市民、地域社会の質的な成熟を目指していく必要があります。

市民の市政参画と市民自治を時代に即した形で発展させ、市民活動と地域づくりをさらに充実させることにより、市民が中心となったまちづくりを実感できる都市を目指します。

第2章 重点方針

「第1章 基本方針」においては、総合計画に替わるこの指針の意義と構成、重点方針の前提となる「長期的な視点」を位置づけてきました。そのうち「長期的な視点」については、「目指す都市像」と「基本目標」を示し、これから20年程度の期間の中で、すべての事務事業において共通して目指すべき方向性と目標を明らかにしました。

「第2章 重点方針」においては、この「長期的な視点」を踏まえ、喫緊に取り組む重点課題を抽出、整理し、「まちづくりテーマ」として設定するとともに、「まちづくりテーマ」に対応する「重点施策」を位置づけます。

なお、「重点施策」に基づく「重点事業」は、別冊の『事業集』に位置づけます。

1 取組の考え方

重点施策の実現に向けて、取組の考え方を示します。

また、この考え方は、重点施策、重点事業だけでなく、計画期間において、すべての事業の共通の価値観、方向性とすることで、取組の効果と効率性を高めます。

(1) マルチパートナーシップの推進

市民、市民団体をはじめ、大学などの教育機関、県や他市町村といった行政機関、企業などの民間機関は、地域で様々な取組を進めています。

少子超高齢社会、人口減少社会に向けては、これらの主体的な取組と役割を認め、尊重するとともに、協働に取り組む必要があります。

マルチパートナーシップとはこうした役割と協働の姿であり、多様な主体が市民生活における暮らしやすさや藤沢への誇りなどの目標を共有し、更に連携を深めるよう一層の推進を図ります。

(2) 地域福祉の充実と地域の拠点形成

少子超高齢社会、人口減少社会では、子どもから高齢者、障がい者、生活困窮者も含め、誰もが住み慣れた地域で、その人らしく安心して暮らし続けることが

できるよう、「支えあいの地域づくり」を進めることが重要になってきます。

また、藤沢市では市民センター・公民館を中心とする13地区を行政区域としており、地域の特性を活かしながら、主体的な市民活動が行われてきました。

こうしたことから、市民や地域で活動する団体・関係機関等の多様な主体と行政が協働し、市全域といった広域的な視点からの「地域の取組を支える体制づくり」と市民センター・公民館を中心とする「地域特性を活かした支えあいの地域づくり」を進めていく「藤沢型地域包括ケアシステム」を推進することが重要となります。

この「藤沢型地域包括ケアシステム」の仕組みを前提に、都市基盤をはじめ、文化、地域経済、環境など、生活者の視点から多角的に取組を進めるとともに、13地区における相談、サービスの拠点形成と機能の充実を図ります。

③ 横断的連携

庁内各部がそれぞれ個別に施策に取り組むだけでなく、一つの課題に対して複数の部・局が横断的に取り組む中で、施策の方向性をあわせ、目的を共有することにより、施策の効果や取り組む事業の効率性を高めていきます。

2 まちづくりテーマ

長期的な視点を踏まえながら、市民意識の分析結果や「2025年問題」における概括的課題、市長公約等をもとに、緊急かつ重点的に取り組む課題として、重点項目とその方向性を整理します。

(1) 安全で安心な暮らしを築く

市民の安全な暮らしを守るため、地震、津波、風水害、都市災害をはじめ、交通事故や犯罪、テロなど、市民の生命と財産、生活を脅かすリスクを低減するとともに、事前の防災や減災、災害早期の初動体制にも対応し、災害や危機に強い~~な~~なやかなまちづくりを推進する必要があります。

② 「2020年」に向けてまちの魅力を創出する

地域の活性化や~~自然環境の保全~~、~~新たな価値の創出等~~により市民生活の豊かさを醸成するため、東京2020オリンピック・パラリンピックを好機と捉え、スポーツ文化の定着やボランティアの促進、観光関連産業の振興、都市の魅力づくり、国際交流と多文化共生の推進等に取り組む必要があります。

③ 笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる

次代を担う子どもたちの心身の健康と「生きる力」を育むため、妊娠期からの各段階に応じた子育て支援や教育環境の整備を推進するとともに、~~保育、教育、放課後児童の居場所、貧困の連鎖等の課題に対応するよう子育て環境を充実し、少子化に歯止めをかけていくとともに、貧困の連鎖を断ち切るための子どもの貧困対策の推進~~やニートなど困難を有する若者の社会参加や自立を支援していく必要があります。

④ 健康で豊かな長寿社会をつくる

超高齢化が進展する中で、すべての市民が健康で生きがいを持ち、住み慣れた地域でいつまでも元気に暮らすことができるよう、在宅医療、在宅介護を充実するとともに、健康寿命日本一を目指した取組を進め、豊かな長寿社会を構築する必要があります。

また、こうした取組の礎となる~~生活上の関わりや交流を深め~~、「人と人とのつながり」を大切にする支えあいの地域づくりを一層推進する必要があります。

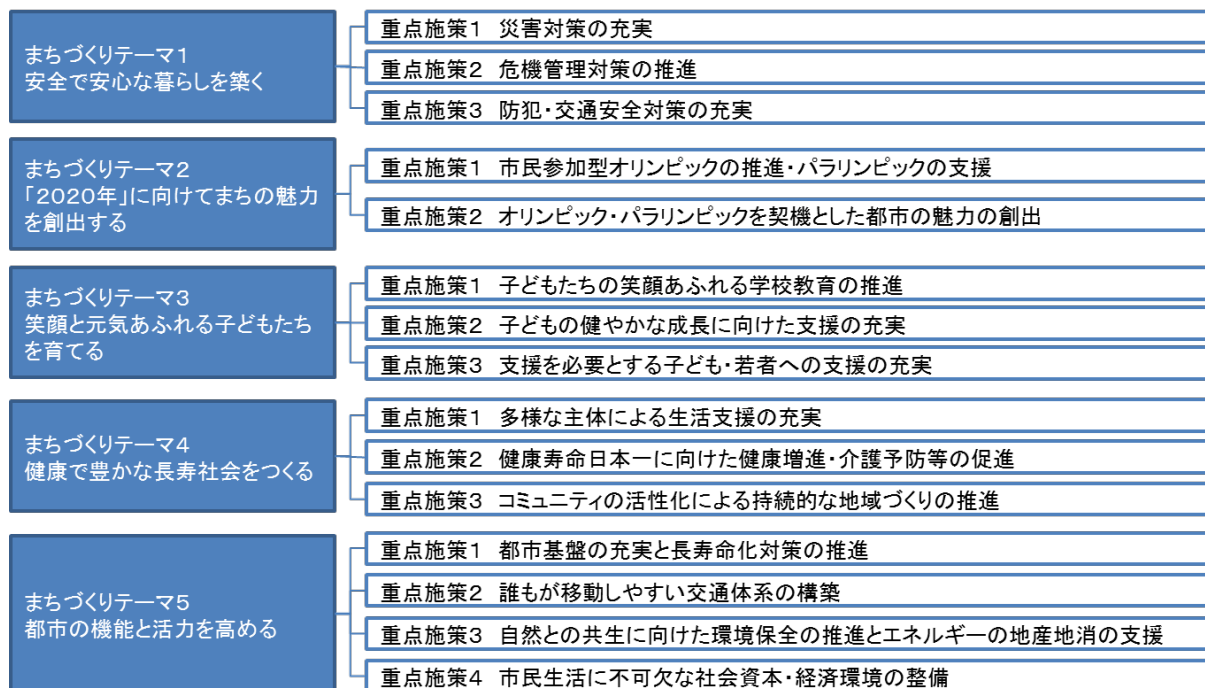
⑤ 都市の機能と活力を高める

都市としての持続性を維持しながら藤沢の魅力や活力を高めるため、新たな基盤形成や都市施設の長寿命化、更新を計画的に進める必要があります。

また、市民生活に欠かすことのできない自然環境との共生や居住環境の維持保全、市民が移動しやすい環境の整備、地域経済の循環の拡充を進める必要があります。

3 重点施策

まちづくりテーマに基づき、計画期間において特に重点的に取り組む施策を示します。



まちづくりテーマ1

「安全で安心な暮らしを築く」

地震、津波、風水害、都市災害をはじめ、交通事故や犯罪、テロなどへの対策を充実するとともに、事前の防災や減災にも対応するまちづくりを推進します。

(1) 災害対策の充実

市民の生命、財産を守るため、災害リスクを認識した防災、減災の視点から、地震・津波対策、風水害対策、土砂災害対策、防災備蓄・防災機能の強化を推進します。【総務部、計画建築部、都市整備部、土木部、消防局】

(想定重点事業)

- 防災設備等整備事業
- 公園事業
- 緑地改修事業
- 建築物等防災対策事業
- 橋りょう改修事業
- 橋りょう架替事業
- 大規模震災等対策強化事業

② 危機管理対策の推進

災害対策だけでなく、国際化が急速に進展する中で、市民生活における健康や環境など、様々な脅威に対応するため~~健康、環境、紛争などの様々な点で市民生活に脅威を与える危機の恐れがあるため~~、危機管理対策を推進します。さらに、東京2020オリンピック・セーリング会場としてテロ~~防止~~対策、消防救急体制の強化に取り組みます。【総務部、市民病院、消防局】

(想定重点事業)

- 危機管理対策推進事業
- 市民病院事業
- 大規模震災等対策強化事業
- サイバーテロ対策事業

③ 防犯・交通安全対策の充実

地域や商店街での犯罪を~~抑止~~する環境整備として、地域、商店街、不法投棄重点監視箇所への防犯カメラの増設を支援します。また、交通安全対策として、自転車を中心に交通ルール・マナーの啓発に取り組むとともに、歩道と自転車の利用環境の整備を推進します。~~超高齢社会における歩行者、自転車の交通安全を中心に、歩道と自転車の利用環境の整備とルール・マナーの啓発に向けた取組を推進します。~~【市民自治部、都市整備部、土木部】

(想定重点事業)

- 街頭防犯カメラ設置推進事業
- 長後地区整備事業
- 自転車利用環境整備事業

まちづくりテーマ2

「『2020年』に向けてまちの魅力を創出する」

東京2020オリンピック・パラリンピックに多くの市民が関わり、希望や元気を得て、都市の~~途切れることのない~~持続的な活力となるよう、スポーツ、ボランティア、観光関連産業の振興、都市の魅力づくり、国際交流と多文化共生の推進等の取組を推進します。また、オリンピックレガシーの創出の~~成果となる~~持続的な都市の発展に向けて、多様な魅力の創造、発信に~~と自然環境、生活環境の視点から~~重点的に取り組みます。

(1) 市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援

東京2020オリンピック・パラリンピックを市民一人ひとりが実感、共感をもって迎えられるよう、「見る」「楽しむ」「応援する」「支える」といった市民参加の取組を推進します。また、この機会を踏まえ、市民ボランティア活動のすそ野を広げる取組を推進します。【企画政策部、生涯学習部、~~環境部~~】

(想定重点事業)

- オリンピック開催準備関係事業 ○都市親善事業
- ビーチバレー大会開催関係事業
- (公財)藤沢市みらい創造財団スポーツ関係事業 (オリンピック・パラリンピック関連事業)

(2) オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出

東京2020オリンピック・パラリンピックの経験や感動を藤沢市の魅力や価値として継承していくため、~~周辺都市~~都市環境の整備や教育、文化芸術活動を推進します。また、年間観光客2,000万人の実現を目指し、東京2020オリンピック・パラリンピックを見据えた観光誘客を推進します。【企画政策部、生涯学習部、経済部、計画建築部、教育部】

(想定重点事業)

- 江の島地区周辺整備事業 ○シティプロモーション推進事業
- 誘客宣伝事業 ○湘南藤沢フィルム・コミッション事業
- 旧東海道藤沢宿活性化推進事業
- 郷土文化推進事業(ふじさわ宿交流館、藤澤浮世絵館の運営)
- 文化行事事業 ○(公財)藤沢市みらい創造財団芸術文化関係事業
- アートスペース運営管理事業

まちづくりテーマ3

「笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる」

次代を担う子どもたちの心身の健康と「生きる力」を育むため、妊娠期からの各段階に応じた子育て支援や教育環境の整備を推進します。学校教育の充実をも

~~とより、乳幼児期、学齢期における課題に対応するよう子育て環境を充実すること~~
~~とで、少子化に歯止めをかけていく取組を推進します。また、貧困の連鎖を断ち~~
~~切るための子どもの貧困対策を推進するとともに子どもや若者が社会での役割を~~
~~実感し、自立した生活を送ることができるようニートなど困難を有する若者の社~~
~~会参加や自立を支援する取組を進めます。~~

(1) 子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進

様々な課題を抱えた子どもたち一人ひとりのニーズに応え、ともに学び、ともに育つ学校教育を推進します。また、豊かな心、確かな学力、健やかな体を育むための学校教育を目指すとともに、新たな学びの環境を充実します。【教育部】

(想定重点事業)

- 児童支援体制充実事業
- 中学校給食運営管理事業
- 中学校給食施設整備事業
- 教育情報機器整備事業
- 校務支援システム構築事業

(2) 子どもの健やかな成長に向けた支援の充実

安心して子育てができるよう、子どもの健やかな成長と子育て家庭のそれぞれの状況に応じた支援の充実を図ります。【子ども青少年部】

(想定重点事業)

- 市立保育所整備事業
- 法人立保育所施設整備助成事業
- 藤沢型認定保育施設補助事業
- ~~○届出保育施設認可化促進事業~~
- 放課後児童クラブ整備事業
- 母子保健事業
- 小児医療助成事業

(3) 支援を必要とする子ども・若者への支援の充実

社会の複雑化や多様化等により子どもたちを取り巻く環境が大きく変化し、子どもの貧困やニート、ひきこもり等、困難を有する子ども・若者の増加が大きな課題となっていることから、総合的な相談体制や生活支援、経済的支援等の取組を充実します。【福祉部，子ども青少年部，経済部，教育部】

(想定重点事業)

- 子ども・若者自立支援事業
- 生活困窮者自立支援事業

まちづくりテーマ4

「健康で豊かな長寿社会をつくる」

超高齢社会が進展する中で、すべての市民の健康と生きがい、安心な暮らしを築くため、藤沢型地域包括ケアシステムによる支えあいの地域づくりや在宅医療、在宅介護の充実を推進するとともに、住み慣れた地域でいつまでも元気に暮らすため、健康寿命日本一を目指し、市民一人ひとりの尊厳ある生活に基づく豊かな長寿社会を実現します。また、自治会・町内会をはじめ、様々な主体と連携し、人と人とのつながりを大切にする地域づくりを推進します。

(1) 多様な主体による生活支援の充実

藤沢型地域包括ケアシステムのもとに、高齢者、障がい者をはじめ、すべての市民の生きがいづくり、支えあいのネットワークづくりなどにつながるよう、多様な主体による生活支援を充実します。【福祉部、保健医療部】

(想定重点事業)

- 介護人材育成支援事業 (介護ロボット導入促進事業)
- 生活支援体制整備事業
- 藤沢型地域包括ケアシステム推進事業
- 地域生活支援事業 (障がい者相談支援事業)
- 生活困窮者自立支援事業 ○福祉総合相談支援事業
- 地域包括支援センター運営事業 ○在宅医療・介護連携推進事業
- 認知症施策推進事業
- ~~○介護ロボット導入促進事業 ○地域支援事業 (介護保険事業)~~
- 介護予防・生活支援サービス事業 (介護保険事業)
- 一般介護予防事業 (介護保険事業)

(2) 健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進

健康寿命日本一に向けて、健康増進や認知症予防に取り組むとともに、若い世代からの~~受動喫煙防止~~、生活習慣の見直しや受動喫煙防止などの環境整備を進め

ます。【生涯学習部，保健医療部，都市整備部】

(想定重点事業)

- 認知症予防事業 ○健康づくり推進事業
- 公園における健康遊具の充実と活用の促進事業
- 禁煙・受動喫煙防止対策事業
- (公財)藤沢市みらい創造財団スポーツ関係事業 (体力づくり推進事業)

③ コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進

多様な主体が協力しながら役割を担って果たしていく支えあいの地域社会を推進するため，市民団体，NPO等の活動を支援し，行政との協働事業を推進します。また，地域の活性化を図るため，自治会・町内会をはじめとする地域団体の支援や，地域人材の育成，各地区の地域まちづくりを推進します。【市民自治部，生涯学習部】

(想定重点事業)

- 公民館運營業務 ○地域コミュニティ活性化推進事業
- 市民活動支援施設運営管理事業 ○公益的市民活動助成事業
- 市民協働推進関係事業 ○地域コミュニティ拠点施設整備支援事業
- 地域の縁側事業 ○市民憲章推進事業
- (仮称)まちのコンシェルジュ支援事業
- 郷土づくり推進会議関係事業 ○六会地区まちづくり事業
- 片瀬地区地域まちづくり事業 ○明治地区まちづくり事業
- 御所見地区地域まちづくり事業 ○遠藤まちづくり推進事業
- 長後地域活性化事業 ○辻堂地区地域まちづくり事業
- 善行地区まちづくり事業 ○湘南大庭地域まちづくり事業
- 湘南台地域まちづくり事業 ○鵠沼地区まちづくり事業
- 藤沢地区まちづくり事業 ○村岡いきいきまちづくり事業

まちづくりテーマ5

「都市の機能と活力を高める」

~~住みたく，~~暮らしやすい藤沢と魅力ある地域を創造するため，ハード，ソフト

両面からの社会基盤の整備を進め、都市としての持続性と活力を高める取組を推進します。特に、都市基盤の長寿命化や更新を進め、老朽化に対応する取組を充実します。

(1) 都市基盤の充実と長寿命化対策の推進

少子超高齢社会への対応や総人口の維持に向けて、自然と調和しつつ市民生活と市内経済を支える都市基盤の充実を図るため、都市拠点の形成、公共施設等の再整備を推進します。【企画政策部、市民自治部、環境部、経済部、計画建築部、都市整備部、土木部、教育部】

(想定重点事業)

- 健康と文化の森整備事業~~西北部総合整備事業~~ ○新産業の森整備事業
- 都市マスタープラン改定事業 ○北部第二（三地区）土地区画整理事業
- 藤沢駅周辺地区再整備事業
- 市道藤沢652号線の整備事業(都市計画道路藤沢石川線)
- 市道新設改良（バリアフリー化）の推進事業
- 道路安全対策事業 ○道路改修舗装事業
- （仮称）道路施設の老朽化対策事業（長寿命化）
- （公共施設再整備短期プラン事業）
- 庁舎等整備事業
- 労働会館整備事業 ○善行市民センター改築事業
- 辻堂市民センター改築事業 ○一般廃棄物中間処理施設整備事業
- 地域市民の家維持管理事業 ○市民センター・公民館整備計画策定事業
- （仮称）藤沢市下水道長寿命化事業
- 学校施設の再整備・長寿命化事業

(2) 誰もが移動しやすい交通体系の構築

高齢者や障がい者をはじめ、誰もが移動しやすい交通体系の構築を目指し、「藤沢市交通マスタープラン」等に基づき、拠点間だけでなく、~~地区内を~~区域とネットワークする交通環境づくりを推進します。【計画建築部】

(想定重点事業)

○総合交通体系推進事業（いずみ野線延伸事業）

○公共交通の利便性向上事業

③ 自然との共生に向けた環境保全の推進とエネルギーの地産地消の支援

豊かな自然と共生する社会の実現に向けて，三大谷戸の保全をはじめとする取組を進め，都市の持続的発展に向けた環境の保全を推進するとともに，市民主体のエネルギーの地産地消の仕組みづくりに向けた支援を行います。【環境部，都市整備部】

○環境啓発事業 ○石川丸山緑地保全事業 ○自然環境共生推進事業

○健康の森保全再生整備事業 ○地球温暖化対策関係事業

④ 市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備

社会共通資本としての都市基盤だけでなく，生活に密着した経済的資本などを活性化するため，住環境や商店街，新産業等の経済環境の整備を推進します。【経済部，計画建築部，都市整備部】

（想定重点事業）

○ロボット産業推進事業 ○新産業創出事業

○地域密着型商業まちづくり支援事業 ○担い手育成支援事業

○住宅マスタープラン等策定検討事業

4 重点施策実現に向けた財政見直し

重点施策を実現するための財政見直しとして，この指針の期間における歳入は，地方税の制度改正などからわずかな減少を見込んでおり，その後の更なる市税収入の減少等を考慮すると，増収に寄与する的確な都市の基盤整備への投資や基金の一層の活用などによる将来的な財源確保が必要となります。

一方，扶助費の継続的な増加や公共施設の老朽化対策等が見込まれるため，歳出においては，経常事業，継続事業について，より効率的な予算執行と計画的な事業運営を進めながら，重点施策の実現を図る必要があります。

これらの状況を踏まえた一般会計（事業費ベース）の歳入歳出の見直しとして，

表1は歳入見込として市税をはじめとする自主財源と依存財源の見込を表しています。

表1 歳入の状況

(単位:千円)

(歳入見込)	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
自主財源計					
市税					
その他					
依存財源計					
地方譲与税等					
地方消費税交付金					
国庫支出金					
県支出金					
その他					
合計 ①					

表2は歳出見込であり、人件費や生活保護法、児童福祉法などに基づく経済的援助などの扶助費、借入金を返済するための経費である公債費からなる義務的経費とその他毎年度持続して固定的に支出される経費を合計して経常的経費として集計しています。

この経常的経費を歳入見込額から差し引いた額が政策的経費充当可能財源であり、重点施策を実現するために充てられる額の上限となります。

また、重点事業費を確保する取組として行財政改革と密接に連携し、効果額を反映させていくとともに、公共施設再整備短期プランや重点事業以外の普通建設事業の中期見込みについても整合を図ります。

表2 歳出の状況

(単位:千円)

(歳出見込)	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
経常的経費計 ②					
義務的経費					
人件費					
扶助費					
公債費					
その他					
政策的経費投入可能財源 ③(①-②)					

5 評価

重点施策の評価は指標を設定し、市民満足度をはじめとする「市民意識調査」により行います。また、重点事業の評価は、事務事業評価と連動して実施し、その中で事業の効率性を高め、適切な改善を図るとともに、確実な進捗管理を行います。

6 重点施策の実現に向けた重点事業

重点施策の実現を図るための個別の取組は、「重点事業」として重点施策ごとにまとめ、別冊の「事業集」に示します。

重点事業は、まちづくりテーマと重点施策の実現を図ることを目的として、指針の期間において重点的に取り組む事業となります。経常的、継続的に実施する事業と異なり、事業費、人的コストの重点的な投入や事業の組織横断的な検討実施等により取り組みます。

重点事業候補に係る事業費一覧(要求ベース)(途中経過報告)

No.	重点施策候補名	重点事業候補名	所管部	性質1	一般財源								指針期間 総事業費 (29～32年度)
					29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	合計	
1	1-1災害対策の充実	防災設備等整備事業費	11総務部	一般行政経費	121,442	156,378	335,890	166,124	166,124	166,124	166,124	1,278,206	779,834
	1-1災害対策の充実	片瀬山地区防災対策事業費	51計画建築部	一般行政経費	93	0	0	0	0	0	0	93	93
2	1-1災害対策の充実	建築物等防災対策事業費	51計画建築部	一般行政経費	33,515	88,151	103,451	106,701	106,701	106,701	106,701	651,921	331,818
3	1-1災害対策の充実	住宅環境整備事業費(鵜沼住宅)	51計画建築部	投資的経費	150	0	0	0	0	0	0	150	150
4	1-1災害対策の充実	緑地改修事業費	53都市整備部	一般行政経費	209,094	104,887	91,629	62,500	20,000	5,000	5,000	498,110	468,110
5	1-1災害対策の充実	橋りょう改修費	55土木部	投資的経費	120,983	114,040	302,200	286,000	295,200	107,300	112,200	1,337,923	823,223
6	1-1災害対策の充実	橋りょう架替事業費	55土木部	投資的経費	27,293	29,823	73,812	51,893	0	0	0	182,821	182,821
7	1-1災害対策の充実	一色川改修費	55土木部	投資的経費	77,224	24,225	54,375	21,425	18,025	25,925	27,425	248,624	177,249
8	1-2危機管理対策の推進	大規模震災対策強化事業費	61消防局	一般行政経費	1,080	0	0	0	0	0	0	1,080	1,080
9	1-3防犯・交通安全対策の充実	街頭防犯カメラ設置事業費	17市民自治部	一般行政経費	10,311	6,582	6,582	0	0	0	0	23,475	23,475
10	1-3防犯・交通安全対策の充実	長後地区整備事業費	53都市整備部	投資的経費	70,640	32,375	14,010	15,580	17,640	61,430	52,950	264,625	132,605
11	1-3防犯・交通安全対策の充実	自転車利用環境整備費	55土木部	投資的経費	27,318	390,000	105,000	42,500	7,500	7,500	7,500	587,318	564,818
12	2-1市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援	オリンピック開催準備関係費	13企画政策部	一般行政経費	22,657	30,000	75,000	65,000	10,100	0	0	202,757	192,657
13	2-1市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援	都市親善費	13企画政策部	一般行政経費	0	4,200	4,200	5,000	0	0	0	13,400	13,400
14	2-1市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援	ビーチバレー大会開催関係費	19生涯学習部	一般行政経費	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	56,000	32,000
15	2-1市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援	(公財)藤沢市みらい創造財団スポーツ事業関係費(オリンピック・パラリンピック関連事業)	19生涯学習部	一般行政経費	38,666	38,800	39,000	40,000	40,000	39,800	39,000	275,266	156,466
16	2-2オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出	シティプロモーション関係費	13企画政策部	一般行政経費	13,132	14,946	14,946	14,946	10,000	10,000	10,000	87,970	57,970
17	2-2オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出	地方創生推進文化・芸術事業費	13企画政策部	一般行政経費	540	540	540	540	1,080	1,080	1,080	5,400	2,160
18	2-2オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出	旧東海道藤沢宿活性化推進事業	19生涯学習部	一般行政経費								0	0
19	2-2オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出	郷土文化推進費	19生涯学習部	一般行政経費								0	0

No.	重点施策候補名	重点事業候補名	所管部	性質1	一般財源								指針期間 総事業費 (29～32年度)	
					29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	合計		
20	2-2オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出	文化行事費	19生涯学習部	一般行政経費									0	0
21	2-2オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出	(公財)藤沢市みらい創造財団芸術文化関係事業	19生涯学習部	一般行政経費									0	0
22	2-2オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出	アートスペース運営管理事業	19生涯学習部	一般行政経費									0	0
23	2-2オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出	誘客宣伝事業費	35経済部	一般行政経費	40,643	45,605	45,605	45,605	45,605	45,605	45,605	45,605	314,273	177,458
24	2-2オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出	湘南藤沢フィルム・コミッション事業費	35経済部	一般行政経費	23,671	24,486	24,486	24,486	24,486	24,486	24,486	24,486	170,587	97,129
25	2-2オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出	漁港機能保全対策事業費	35経済部	投資的経費	9,036	265,366	10,997	150,236	101,046	1,062	139,671	677,414	435,635	
26	2-2オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出	江の島地区周辺整備事業費	51計画建築部	投資的経費	3,065	3,954	171,506	69,814	3,493	53,541	7,712	313,085	248,339	
27	3-1子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進	学校事務職員パソコン配置事業費	71教育部	一般行政経費	4,434	2,724	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	132,158	57,158
28	3-1子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進	校務支援システム構築事業費(小)	71教育部	一般行政経費	0	5,217	5,217	5,217	5,217	5,217	5,217	5,217	31,302	15,651
29	3-1子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進	校務支援システム構築事業費(小)	71教育部	一般行政経費	2,609	129,310	136,980	136,980	136,980	136,980	136,980	136,980	816,819	405,879
30	3-1子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進	校務支援システム構築事業費(中)	71教育部	一般行政経費	1,601	3,202	3,202	3,202	3,202	3,202	3,202	3,202	20,813	11,207
31	3-1子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進	校務支援システム構築事業費(特)	71教育部	一般行政経費	238	475	475	475	475	475	475	475	3,088	1,663
32	3-1子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進	教育情報機器整備事業費	71教育部	一般行政経費	10,051	133,530	231,201	208,129	208,129	215,809	208,129	1,214,978	582,911	
33	3-1子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進	教育情報化推進事業費	71教育部	一般行政経費	3,653	14,733	15,033	15,033	15,033	15,033	15,033	15,033	93,551	48,452
34	3-1子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進	中学校給食運営管理費	71教育部	一般行政経費	177,285	293,408	376,519	3,761,519	3,763,519	3,761,519	3,761,519	15,895,288	4,608,731	
35	3-1子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進	中学校給食施設整備費	71教育部	一般行政経費	26,836	44,764	57,182	0	0	0	0	128,782	128,782	
36	3-2子どもの健やかな成長に向けた支援の充実	法人立保育所施設整備助成事業費	32子ども青少年部	一般行政経費	29,092	0	0	0	0	0	0	0	29,092	29,092
37	3-2子どもの健やかな成長に向けた支援の充実	善行保育園及び善行乳児保育園再整備事業	32子ども青少年部	投資的経費	31,800	685,200	617,000	120,000	20,000	0	0	1,474,000	1,454,000	
38	3-2子どもの健やかな成長に向けた支援の充実	辻堂保育園再整備事業	32子ども青少年部	投資的経費	31,800	606,200	538,000	60,000	10,000	0	0	1,246,000	1,236,000	
	3-2子どもの健やかな成長に向けた支援の充実	届出保育施設認可化促進事業費	32子ども青少年部	一般行政経費	7,293	837	837	0	0	0	0	8,967	8,967	
39	3-2子どもの健やかな成長に向けた支援の充実	市立保育所整備費	32子ども青少年部	投資的経費	77,681	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	107,681	92,681

No.	重点施策候補名	重点事業候補名	所管部	性質1	一般財源								指針期間 総事業費 (29～32年度)	
					29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	合計		
40	3-2子どもの健やかな成長に向けた支援の充実	法人立保育所運営費等助成事業費	32子ども青少年部	一般行政経費	1,693,597	1,793,573	1,808,216	1,830,180	1,830,180	1,830,180	1,830,180	1,830,180	12,616,106	7,125,566
41	3-2子どもの健やかな成長に向けた支援の充実	藤沢型認定保育施設保育料助成費	32子ども青少年部	一般行政経費	26,758	32,482	32,482	32,482	32,482	32,482	32,482	32,482	221,650	124,204
42	3-2子どもの健やかな成長に向けた支援の充実	藤沢型認定保育施設補助事業費	32子ども青少年部	一般行政経費	79,186	133,064	133,064	133,064	133,064	133,064	133,064	133,064	877,570	478,378
43	3-2子どもの健やかな成長に向けた支援の充実	小児医療費助成事業	32子ども青少年部	扶助費	1,397,106	1,400,000	1,700,000	1,700,000	1,700,000	1,700,000	1,700,000	1,700,000	11,297,106	6,197,106
	3-2子どもの健やかな成長に向けた支援の充実	放課後児童健全育成事業	32子ども青少年部	一般行政経費	469,461	490,000	550,000	620,000	620,000	620,000	620,000	620,000	3,989,461	2,129,461
44	3-2子どもの健やかな成長に向けた支援の充実	放課後児童クラブ整備事業費	32子ども青少年部	投資的経費	49,093	63,064	55,181	15,766	15,766	15,766	15,766	15,766	230,402	183,104
45	3-3支援を必要とする子ども・若者への支援の充実	母子家庭等自立支援給付金事業	32子ども青少年部	扶助費	7,096	7,508	7,508	7,508	7,508	7,508	7,508	7,508	52,144	29,620
46	3-3支援を必要とする子ども・若者への支援の充実	子どもの生活支援事業	32子ども青少年部	扶助費	3,860	3,860	5,281	5,281	5,281	5,281	5,281	5,281	34,125	18,282
47	3-3支援を必要とする子ども・若者への支援の充実	子ども・若者育成支援事業費	32子ども青少年部	扶助費	7,619	10,117	10,117	10,117	10,117	10,117	10,117	10,117	68,321	37,970
48	3-3支援を必要とする子ども・若者への支援の充実	就労支援事業費	35経済部	一般行政経費	26,444	28,854	28,854	28,854	28,854	28,854	28,854	28,854	199,568	113,006
49	3-3支援を必要とする子ども・若者への支援の充実	奨学金給付事業費	71教育部	扶助費	991	3,165	5,325	7,485	9,645	9,645	9,645	9,645	45,901	16,966
50	4-1多様な主体による生活支援の充実	生活困窮者自立支援事業	29福祉部	扶助費	30,886	68,189	84,189	92,189	92,189	92,189	92,189	92,189	552,020	275,453
51	4-1多様な主体による生活支援の充実	藤沢型地域包括ケアシステム推進事業費	29福祉部	一般行政経費	10,632	14,015	15,150	14,770	15,700	16,970	17,270	104,507	54,567	
52	4-1多様な主体による生活支援の充実	介護人材育成支援事業費	29福祉部	一般行政経費	11,826	18,044	18,644	18,644	18,644	18,644	18,644	18,644	123,090	67,158
53	4-1多様な主体による生活支援の充実	地域生活支援事業費(相談支援事業)	29福祉部	扶助費	385,874	74,538	74,538	81,190	81,170	81,170	81,170	81,170	859,650	616,140
54	4-2健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進	(公財)藤沢市みらい創造財団スポーツ関係事業(ラジオ体操の開催)	19生涯学習部	一般行政経費									0	0
55	4-2健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進	健康づくり推進事業費	31保健医療部	一般行政経費	71,869	73,306	74,773	76,268	77,793	79,349	80,936	534,295	296,216	
56	4-2健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進	在宅医療・介護連携推進事業費	31保健医療部	一般行政経費	2,394	2,394	2,394	2,394	2,394	2,394	2,394	16,758	9,576	
57	4-2健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進	がん検診事業費	31保健医療部	一般行政経費	716,901	18,079	30,000	30,300	30,603	30,909	31,218	888,010	795,280	
58	4-2健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進	公園改修費	53都市整備部	投資的経費	92,478	131,000	124,500	82,000	122,000	147,500	117,000	816,478	429,978	

No.	重点施策候補名	重点事業候補名	所管部	性質1	一般財源								指針期間 総事業費 (29～32年度)
					29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	合計	
59	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	公益的の市民活動助成事業費	17市民自治部	一般行政経費	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	14,000	8,000
60	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	市民活動支援施設運営管理費	17市民自治部	一般行政経費	59,456	59,131	59,131	55,695	54,523	54,848	54,523	397,307	233,413
61	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	市民協働推進関係費	17市民自治部	一般行政経費	9,021	16,105	16,105	16,105	12,105	12,105	12,105	93,651	57,336
62	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	地域コミュニティ拠点施設整備支援事業	17市民自治部	一般行政経費	19,000	31,307	27,000	27,000	27,000	27,000	27,000	185,307	104,307
63	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	地域の縁側事業	17市民自治部	一般行政経費	25,016	32,142	32,274	33,321	36,717	36,717	36,717	232,904	122,753
64	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	郷土づくり推進会議関係費(六会市民センター)	17市民自治部	一般行政経費	1,047							1,047	1,047
65	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	六会地区まちづくり事業費(六会市民センター)	17市民自治部	一般行政経費	1,503							1,503	1,503
66	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	公園改修費(地域執行分)(六会市民センター)	17市民自治部	一般行政経費	5,994							5,994	5,994
67	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	郷土づくり推進会議関係費(片瀬市民センター)	17市民自治部	一般行政経費	1,561							1,561	1,561
68	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	片瀬地区地域まちづくり事業費(片瀬市民センター)	17市民自治部	一般行政経費	3,204							3,204	3,204
69	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	道路改修舗装費(地域執行分)(片瀬市民センター)	17市民自治部	一般行政経費	0							0	0
70	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	市民センター整備費(明治市民センター)	17市民自治部	一般行政経費	0							0	0
71	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	郷土づくり推進会議関係費(明治市民センター)	17市民自治部	一般行政経費	617							617	617
72	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	明治地区まちづくり事業費(明治市民センター)	17市民自治部	一般行政経費	1,617							1,617	1,617
73	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	郷土づくり推進会議関係費(御所見市民センター)	17市民自治部	一般行政経費	599							599	599
74	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	御所見地区地域まちづくり事業費(御所見市民センター)	17市民自治部	一般行政経費	626							626	626
75	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	道路改修舗装費(地域執行分)(御所見市民センター)	17市民自治部	一般行政経費	0							0	0
76	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	郷土づくり推進会議関係費(遠藤市民センター)	17市民自治部	一般行政経費	1,065							1,065	1,065
77	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	遠藤まちづくり推進事業費(遠藤市民センター)	17市民自治部	一般行政経費	244							244	244
78	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	公園改修費(地域執行分)(遠藤市民センター)	17市民自治部	一般行政経費	0							0	0

No.	重点施策候補名	重点事業候補名	所管部	性質1	一般財源								指針期間 総事業費 (29～32年度)	
					29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	合計		
79	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	市民センター整備費(長後市民センター)	17市民自治部	一般行政経費	39,172								39,172	39,172
80	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	郷土づくり推進会議関係費(長後市民センター)	17市民自治部	一般行政経費	1,449								1,449	1,449
81	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	長後地域活性化事業費(長後市民センター)	17市民自治部	一般行政経費	1,441								1,441	1,441
82	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	郷土づくり推進会議関係費(辻堂市民センター)	17市民自治部	一般行政経費	971								971	971
83	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	辻堂地区地域まちづくり事業費(辻堂市民センター)	17市民自治部	一般行政経費	1,075								1,075	1,075
84	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	街路樹管理業務費(地域執行分)(辻堂市民センター)	17市民自治部	一般行政経費	979								979	979
85	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	郷土づくり推進会議関係費(善行市民センター)	17市民自治部	一般行政経費	650								650	650
86	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	善行地区まちづくり事業費(善行市民センター)	17市民自治部	一般行政経費	1,513								1,513	1,513
87	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	市民センター整備費(湘南大庭市民センター)	17市民自治部	一般行政経費	981								981	981
88	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	郷土づくり推進会議関係費(湘南大庭市民センター)	17市民自治部	一般行政経費	859								859	859
89	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	湘南大庭地域まちづくり事業費(湘南大庭市民センター)	17市民自治部	一般行政経費	553								553	553
90	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	道路改修舗装費(地域執行分)(湘南大庭市民センター)	17市民自治部	一般行政経費	3,182								3,182	3,182
91	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	公園改修費(地域執行分)(湘南大庭市民センター)	17市民自治部	一般行政経費	2,827								2,827	2,827
92	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	街路樹管理業務費(地域執行分)(湘南大庭市民センター)	17市民自治部	一般行政経費	3,275								3,275	3,275
93	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	郷土づくり推進会議関係費(湘南台市民センター)	17市民自治部	一般行政経費	854								854	854
94	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	湘南台地域まちづくり事業費(湘南台市民センター)	17市民自治部	一般行政経費	0								0	0
95	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	郷土づくり推進会議関係費(鶴沼市民センター)	17市民自治部	一般行政経費	520								520	520
96	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	鶴沼地区まちづくり事業費(鶴沼市民センター)	17市民自治部	一般行政経費	1,431								1,431	1,431
97	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	道路改修舗装費(地域執行分)(鶴沼市民センター)	17市民自治部	一般行政経費	0								0	0

No.	重点施策候補名	重点事業候補名	所管部	性質1	一般財源								指針期間 総事業費 (29～32年度)	
					29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	合計		
98	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	公園改修費(地域執行分)(鶴沼市民センター)	17市民自治部	一般行政経費	1,905								1,905	1,905
99	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	公民館運営業務費	19生涯学習部	一般行政経費									0	0
100	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	郷土づくり推進会議関係費(藤沢公民館)	19生涯学習部	一般行政経費	1,002								1,002	1,002
101	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	藤沢地区まちづくり事業費(藤沢公民館)	19生涯学習部	一般行政経費	3,328								3,328	3,328
102	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	緑地改修事業費(地域執行分)(藤沢公民館)	19生涯学習部	一般行政経費	3,300								3,300	3,300
103	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	公園改修費(地域執行分)(藤沢公民館)	19生涯学習部	一般行政経費	5,941								5,941	5,941
104	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	旧東海道藤沢宿活性化推進事業費(藤沢公民館)	19生涯学習部	一般行政経費	465								465	465
105	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	郷土づくり推進会議関係費(村岡公民館)	19生涯学習部	一般行政経費	1,100								1,100	1,100
106	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	村岡いきいきまちづくり事業費(村岡公民館)	19生涯学習部	一般行政経費	2,709								2,709	2,709
107	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	道路改修舗装費(地域執行分)(村岡公民館)	19生涯学習部	一般行政経費	1,948								1,948	1,948
108	4-3持続性のあるコミュニティによる地域づくりの推進	公園改修費(地域執行分)(村岡公民館)	19生涯学習部	一般行政経費	1,200								1,200	1,200
109	5-1都市基盤の充実と長寿命化対策の推進	公共資産活用関係費	13企画政策部	一般行政経費	40,497	17,141	17,087	15,791	3,695	3,695	3,695	101,601	90,516	
110	5-1都市基盤の充実と長寿命化対策の推進	庁舎等整備費	15財務部	投資的経費	803,068	0	0	0	0	0	0	803,068	803,068	
111	5-1都市基盤の充実と長寿命化対策の推進	善行市民センター改築事業費	17市民自治部	投資的経費	0	50,657	428,501	30,629	141,980	4,000	0	655,767	509,787	
112	5-1都市基盤の充実と長寿命化対策の推進	辻堂市民センター改築事業費	17市民自治部	投資的経費	25,004	90,199	630,899	205,766	0	0	0	951,868	951,868	
113	5-1都市基盤の充実と長寿命化対策の推進	片瀬山市民の家再整備等事業費	17市民自治部	投資的経費	0	760	83,812	20,000	4,000	0	0	108,572	104,572	
114	5-1都市基盤の充実と長寿命化対策の推進	石名坂環境事業所整備工事	33環境部	投資的経費	230,000	452,131	336,210	220,040	200,120	120,120	120,120	1,678,741	1,238,381	
115	5-1都市基盤の充実と長寿命化対策の推進	一般廃棄物中間処理施設整備事業費	33環境部	投資的経費	23,072	55,000	201,400	812,059	453,907	300,441	65,474	1,911,353	1,091,531	
116	5-1都市基盤の充実と長寿命化対策の推進	労働会館整備費	35経済部	一般行政経費	9,793	57,465	0	0	0	0	0	67,258	67,258	
117	5-1都市基盤の充実と長寿命化対策の推進	都市マスタープラン等関係費	51計画建築部	一般行政経費	542	3,176	0	0	3,542	3,542	0	10,802	3,718	

No.	重点施策候補名	重点事業候補名	所管部	性質1	一般財源								指針期間 総事業費 (29～32年度)
					29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	合計	
118	5-1都市基盤の充実と長寿命化対策の推進	住宅環境整備事業費(市営住宅再整備)	51計画建築部	一般行政経費	113,779	28,493	43,552	28,493	34,537	26,528	31,487	306,869	214,317
119	5-1都市基盤の充実と長寿命化対策の推進	藤沢駅周辺地区再整備事業費	53都市整備部	投資的経費	198,965	1,362,287	1,524,034	1,247,600	1,247,600	1,072,936	810,192	7,463,614	4,332,886
120	5-1都市基盤の充実と長寿命化対策の推進	健康と文化の森整備事業費	53都市整備部	投資的経費	33,610	24,500	159,500	208,500	337,612	17,500	17,500	798,722	426,110
121	5-1都市基盤の充実と長寿命化対策の推進	新産業の森整備事業費	53都市整備部	投資的経費	8,670	154,460	292,280	333,380	301,380	277,000	279,000	1,646,170	788,790
122	5-1都市基盤の充実と長寿命化対策の推進	市道新設改良費(その他事業)	55土木部	投資的経費	202,585	85,209	77,950	56,930	69,450	166,340	61,000	719,464	422,674
123	5-1都市基盤の充実と長寿命化対策の推進	市道新設改良費(藤沢652号線)	55土木部	投資的経費		12,300	25,042	18,349	12,590	56,759	11,600		
124	5-1都市基盤の充実と長寿命化対策の推進	市道新設改良費(バリアフリー事業)	55土木部	投資的経費		13,100	14,780	29,340	30,900	17,640	11,800		
125	5-1都市基盤の充実と長寿命化対策の推進	道路安全対策事業費	55土木部	一般行政経費	95,427	95,427	95,427	95,427	95,427	95,427	95,427	667,989	381,708
126	5-1都市基盤の充実と長寿命化対策の推進	道路改修舗装事業費	55土木部	一般行政経費	725,063	800,900	800,900	800,900	800,900	800,900	800,900	5,530,463	3,127,763
127	5-1都市基盤の充実と長寿命化対策の推進	道路施設改修事業費	55土木部	投資的経費	51,819	37,345	169,419	89,980	64,711	47,000	44,150	504,424	348,563
128	5-1都市基盤の充実と長寿命化対策の推進	道路施設改修事業費	55土木部	投資的経費	39,831	110,884	68,101	50,000	50,000	0	0		
129	5-1都市基盤の充実と長寿命化対策の推進	鵠南小学校改築事業費	71教育部	投資的経費	8,522	212,526	304,452	716,277	45,000	0	0	1,286,777	1,241,777
130	5-1都市基盤の充実と長寿命化対策の推進	六会中学校屋内運動場改築事業費	71教育部	投資的経費	0	0	0	0	43,935	51,982	117,872	213,789	0
131	5-1都市基盤の充実と長寿命化対策の推進	鵠沼中学校改築事業費	71教育部	投資的経費	0	0	53,500	159,117	633,492	695,919	49,411	1,591,439	212,617
132	5-1都市基盤の充実と長寿命化対策の推進	辻堂小学校改築事業費	71教育部	投資的経費	0	0	0	53,500	159,117	411,424	506,337	1,130,378	53,500
133	5-1都市基盤の充実と長寿命化対策の推進	鵠洋小学校改築事業費	71教育部	投資的経費	0	0	0	0	53,500	165,000	272,663	491,163	0
134	5-1都市基盤の充実と長寿命化対策の推進	片瀬小学校改築事業費	71教育部	投資的経費	0	0	0	0	0	53,500	168,000	221,500	0
135	5-2移動しやすい持続可能な交通体系の構築	総合交通体系推進業務費	51計画建築部	投資的経費	58,813	69,998	78,998	63,998	271,712	568,532	1,011,532	2,123,583	271,807
136	5-3自然との共生に向けた環境保全の推進とエネルギーの地産地消の支援	環境啓発推進事業費	33環境部	一般行政経費	5,581	5,581	5,611	5,581	5,581	5,611	5,581	39,127	22,354
137	5-3自然との共生に向けた環境保全の推進とエネルギーの地産地消の支援	生活環境美化推進費	33環境部	一般行政経費	23,244	22,152	21,905	21,905	21,905	21,682	21,682	154,475	89,206
138	5-3自然との共生に向けた環境保全の推進とエネルギーの地産地消の支援	地球温暖化対策関係事業費	33環境部	一般行政経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
139	5-3自然との共生に向けた環境保全の推進とエネルギーの地産地消の支援	健康の森保全再生整備事業	53都市整備部	投資的経費	33,610	25,431	170,431	210,431	333,259	17,147	17,147	807,456	439,903

No.	重点施策候補名	重点事業候補名	所管部	性質1	一般財源								指針期間 総事業費 (29～32年度)
					29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	合計	
140	5-3自然との共生に向けた環境保全の推進とエネルギーの地産地消の支援	自然環境共生推進事業費	53都市整備部	一般行政経費	0	7,300	5,900	100	3,585	3,585	18,290	38,760	13,300
141	5-3自然との共生に向けた環境保全の推進とエネルギーの地産地消の支援	石川丸山緑地保全事業費	53都市整備部	一般行政経費	0	1,660	11,454	15,494	16,360	16,414	12,564	73,946	28,608
142	5-4市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備	新産業創出事業費	35経済部	一般行政経費	42,153	42,361	42,529	42,692	42,854	43,014	43,164	298,767	169,735
143	5-4市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備	ロボット産業推進事業	35経済部	一般行政経費	25,936	26,155	26,155	26,155	26,155	26,155	26,155	182,866	104,401
144	5-4市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備	地域密着型商業まちづくり推進事業費	35経済部	一般行政経費	17,505	6,720	6,720	6,720	6,720	6,720	6,720	57,825	37,665
145	5-4市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備	地域密着型商業まちづくり推進事業費【一般】	35経済部	一般行政経費	17,505	10,785	12,045	10,785	12,045	10,785	12,045	85,995	51,120
146	5-4市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備	担い手育成支援事業費	35経済部	一般行政経費	0	1,341	1,341	1,341	1,341	1,341	1,341	8,046	4,023
147	5-4市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備	住宅政策関係費	51計画建築部	一般行政経費	14,190	14,190	14,190	14,190	14,190	14,190	14,190	99,330	56,760
	合計				9,412,981	11,710,529	14,113,725	16,050,988	15,576,392	14,949,311	14,537,111	96,351,038	51,288,224

(千円)

(性質別)	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	合計	2020期間計
投資的経費	2,336,130	5,107,034	6,690,890	5,446,110	5,069,935	4,468,264	4,049,022	33,167,385	19,580,164
一般行政経費	5,243,419	5,036,118	5,535,877	8,701,108	8,600,547	8,575,137	8,582,179	50,274,386	24,516,523
扶助費	1,833,432	1,567,377	1,886,958	1,903,770	1,905,910	1,905,910	1,905,910	12,909,267	7,191,537
合計	9,412,981	11,710,529	14,113,725	16,050,988	15,576,392	14,949,311	14,537,111	96,351,038	51,288,224

(中期財政フレーム)

	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
投資的経費	6,885,000	6,937,000	6,643,000	8,438,000	7,870,000
一般行政経費	44,537,000	45,252,000	45,845,000	46,438,000	46,873,000
扶助費	13,838,000	14,341,000	14,844,000	15,347,000	15,850,000

(差引)

	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
投資的経費	4,548,870	1,829,966	-47,890	2,991,890	2,800,065
一般行政経費	39,293,581	40,215,882	40,309,123	37,736,892	38,272,453
扶助費	12,004,568	12,773,623	12,957,042	13,443,230	13,944,090

市政運営の総合指針2016に関する市民意識調査結果（平成28年度）（速報値）

1 基本属性

(1) 性別

性別	回答数	割合
男性	536	43.1%
女性	688	55.3%
回答拒否	6	0.5%
無回答	13	1.0%

(2) 年代

年代	回答数	割合	回収率
20歳代	92	7.4%	25.2%
30歳代	161	13.0%	33.1%
40歳代	242	19.5%	37.2%
50歳代	166	13.4%	36.2%
60歳代	258	20.8%	56.0%
70歳代	210	16.9%	56.8%
80歳代	94	7.6%	49.2%
90歳代～	16	1.3%	42.1%
無回答	4	0.3%	

(3) 職業

区分	回答数	割合
会社員	358	28.8%
自営業	61	4.9%
団体職員	15	1.2%
農林漁業	6	0.5%
家事専業	230	18.5%
パート・アルバイト	184	14.8%
学生	15	1.2%
無職	291	23.4%
その他	71	5.7%
無回答	12	1.0%

(4) 居住地区

区分	回答数	割合	回収率
片瀬地区	68	5.5%	45.3%
鵜沼地区	148	11.9%	36.3%
辻堂地区	147	11.8%	49.7%
村岡地区	96	7.7%	47.3%
藤沢地区	140	11.3%	41.9%
明治地区	55	4.4%	27.0%
善行地区	104	8.4%	35.1%
湘南大庭地区	74	6.0%	32.5%
六会地区	96	7.7%	40.3%
湘南台地区	96	7.7%	45.5%
遠藤地区	50	4.0%	58.8%
長後地区	91	7.3%	38.6%
御所見地区	56	4.5%	43.1%
分からない	13	1.0%	
無回答	9	0.7%	

・層化2段無作為抽出法	
・標本数	3,019
・回収数	1,243
・回収率	41.0%
・実施期間	
発送	2016年10月3日
返信	2016年10月18日
・質問数	
基本属性	4問
施策実感度	12問
施策実現度	12問
施策満足度	14問
政策実現度	8問
重要度	48問（各項目）
交通関連	
施策満足度	7問
施策重要度	7問

母集団	348,828人
信頼度	95%
標準誤差	2.8%
設定標本	1,221人

2 重点施策に関する調査

(1) 実感度（充実感等があるか）

質問項目	すごく 思う	少し 思う	あまり 思 わない	ま った く 思 わ な い	ど ち ら で も な い	分 か ら な い	無 回 答	実 感 度	実 感 な し	ど ち ら で も な い	5 点 満 点
地域で災害への備えができていると感じますか？	61	433	315	41	187	127	79	47.6%	34.3%	18.0%	3.2
公共施設を次世代のために、より良い状態で引き継いでいると感じますか？	46	288	323	51	274	176	85	34.0%	38.1%	27.9%	2.9
地域で支え合っていると感じますか？	44	374	321	66	268	86	84	39.0%	36.1%	25.0%	3.0
市内に文化的な魅力があると感じますか？	106	417	296	79	205	54	86	47.4%	34.0%	18.6%	3.2
健康づくりを支える環境が充実していると感じますか？	65	385	317	52	263	74	87	41.6%	34.1%	24.3%	3.1
スポーツ活動が充実していると感じますか？	64	354	256	64	299	116	90	40.3%	30.9%	28.8%	3.1
市内の工業に活力があると感じますか？	30	242	301	93	276	215	86	28.9%	41.8%	29.3%	2.7
市内の商業に活力があると感じますか？	62	366	333	62	241	93	86	40.2%	37.1%	22.7%	3.0
市内の農水産業に活力があると感じますか？	38	300	293	67	305	146	94	33.7%	35.9%	30.4%	2.9
市内の観光に活力があると感じますか？	183	493	187	56	186	47	91	61.2%	22.0%	16.8%	3.6
2020年のオリンピックに向けて活気づいていると感じますか？	15	120	452	303	202	66	85	12.4%	69.1%	18.5%	2.0
環境に配慮したゴミ処理がされていると感じますか？	263	575	82	27	148	67	81	76.5%	10.0%	13.5%	4.0

(2) 実現度 (充足度)

質問項目	よくでき ている	だいたい できている	あまりで きていな い	できてい ない	分から ない	無回答	実現度	未達成度	5点 満点
市民が自慢できるまちであること。	109	638	298	74	101	23	66.8%	33.2%	3.4
ボランティアなどの活動が積極的に 行われていること。	39	315	413	86	366	24	41.5%	58.5%	2.8
住んでいる地域に誇りを持って暮ら していること。	152	622	283	57	98	31	69.5%	30.5%	3.5
豊かな地域の資源を大切にしている こと。	68	409	358	82	297	29	52.0%	48.0%	3.0
社会的弱者の方が快適に過ごせるま ちであること。	35	294	415	140	328	31	37.2%	62.8%	2.6
福祉が充実し、子どもから高齢者ま で守られていること。	50	422	359	143	238	31	48.5%	51.5%	2.9
犯罪のない、明るいまちであるこ と。	66	614	298	108	130	27	62.6%	37.4%	3.2
パソコンなどの情報機器を使った学 校での教育活動が盛んなまちである こと。	16	178	221	58	740	30	41.0%	59.0%	2.7
食事や食生活を意識した学校生活が なされていること。	42	275	145	47	700	34	62.3%	37.7%	3.2
交通が便利で移動しやすいこと。	194	632	233	124	31	29	69.8%	30.2%	3.5
消防や救急の活動が充実していて、 安心できること。	206	702	88	20	201	26	89.4%	10.6%	4.0
自然エネルギーが有効に活用されて いるまちであること。	17	121	307	111	661	26	24.8%	75.2%	2.3

(3) 満足度

質問項目	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	分からない	無回答	満足+ やや満足	普通	不満+ やや不満	5点満点
自治会・町内会の活動について	105	167	565	91	78	159	78	27.0%	56.2%	16.8%	3.13
市民主体のまちづくり活動について	36	126	562	85	44	294	96	19.0%	65.9%	15.1%	3.03
高齢者の在宅サービスについて	25	93	282	106	39	603	95	21.7%	51.7%	26.6%	2.92
いつでも安心して受けられる医療の充実について	101	323	430	141	48	115	85	40.7%	41.2%	18.1%	3.28
安心して子育てができる環境づくりについて	71	216	338	96	50	369	103	37.2%	43.8%	18.9%	3.21
保育園の待機児童の解消について	10	43	192	88	102	707	101	12.2%	44.1%	43.7%	2.47
新しい産業の立地について	18	52	255	129	69	624	96	13.4%	48.8%	37.9%	2.66
生涯学習の機会や場の提供について	24	112	377	156	68	413	93	18.5%	51.2%	30.4%	2.82
美しい街なみなど、市内の景観づくりについて	48	251	455	219	103	72	95	27.8%	42.3%	29.9%	2.93
緑地や樹木などの緑の保全について	60	298	446	186	84	75	94	33.3%	41.5%	25.1%	3.06
個性豊かな児童生徒の育成について	18	58	259	110	49	644	105	15.4%	52.4%	32.2%	2.77
駅をはじめとする都市の拠点の整備について	63	265	418	208	145	50	94	29.8%	38.0%	32.1%	2.90
道路や住宅の整備について	41	172	474	223	174	65	94	19.6%	43.7%	36.6%	2.71
橋や下水道の老朽化対策について	17	73	377	211	87	379	99	11.8%	49.3%	39.0%	2.64

3 都市像・基本目標に関する調査（実現度（充足度））

質問項目	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない	分からない	無回答	実現度	未達成度	5点満点
誰もが快適に暮らせ、居心地の良いまちであること。	63	744	224	66	110	36	73.6%	26.4%	3.5
子供が大人になっても愛着の持てるまちであること。	90	659	216	48	189	41	73.9%	26.1%	3.5
災害に対して、市民が不安なく暮らせるまちであること。	40	400	401	120	234	48	45.8%	54.2%	2.8
地域の記憶や文化が継承され、発展すること。	45	394	293	88	383	40	53.5%	46.5%	3.0
まちと自然環境の調和がとれていること。	70	600	292	83	161	37	64.1%	35.9%	3.3
子どもを安心して育てられる環境があること。	73	548	211	58	307	46	69.8%	30.2%	3.4
保健、医療、福祉、健康などの生活環境が整い暮らしやすいこと。	101	669	238	75	122	38	71.1%	28.9%	3.4
産業の活力を高め、地域が元気になること。	21	243	402	122	408	47	33.5%	66.5%	2.5
移動や利用にあたり、誰でも利用できる道路や施設であること。	54	539	321	136	150	43	56.5%	43.5%	3.1
市民の意識が高く、市民参加型の地域づくりが進んでいること。	38	279	350	121	424	31	40.2%	59.8%	2.7

5 交通の利用について

(1) 満足度調査

質問項目	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	分からない	無回答	満足+ やや満足	普通	不満+ やや不満	5点満点
市内の公共交通（電車・バス・タクシーなど）の利用について	188	318	379	170	84	9	95	44.4%	33.3%	22.3%	3.31
最寄り駅までの所要時間について	281	223	380	161	96	5	97	44.2%	33.3%	22.5%	3.38
歩道の歩きやすさについて	91	191	327	282	235	3	114	25.0%	29.0%	45.9%	2.66
自転車の駐輪施設（駐輪場など）の場所や設備について	37	96	299	287	250	175	99	13.7%	30.9%	55.4%	2.36
自転車での走りやすさについて	22	66	248	345	289	173	100	9.1%	25.6%	65.4%	2.16
自動車で走る道路について	37	117	450	245	163	123	108	15.2%	44.5%	40.3%	2.62
高速道路のインターチェンジまでの所要時間について	69	137	389	177	111	260	100	23.3%	44.1%	32.6%	2.86

(2) 重要度

質問項目	割合
市内の公共交通（電車・バス・タクシーなど）の利用について	29.4%
最寄り駅までの所要時間について	11.5%
歩道の歩きやすさについて	34.5%
自転車（じてんしゃ）の駐輪施設（駐輪場など）の場所や設備について	19.7%
自転車（じてんしゃ）での走りやすさについて	24.2%
自動車（じどうしゃ）で走る道路について	17.5%
高速道路のインターチェンジまでの所要時間について	5.3%

区分	都市像・基本目標・重点施策	アンケート内容	2011 ポイント	2013 ポイント	2014 ポイント	2015 ポイント	2016 ポイント
都市像1	郷土愛あふれる藤沢～松風に人の和うるわし 湘南の 元気都市～	誰もが快適に暮らせ、居心地の良いまち であること。	64.2%	69.7%	72.9%	77.0%	73.6%
都市像2	郷土愛あふれる藤沢～松風に人の和うるわし 湘南の 元気都市～	子供が大人になっても愛着の持てるまち であること。	68.8%	70.3%	76.5%	77.4%	73.9%
基本目標1	1 安全な暮らしを守る	災害に対して、市民が不安なく暮らせる まちであること。	38.1%	38.6%	43.4%	45.8%	45.8%
基本目標2	2 文化・スポーツを盛んにする	地域の記憶や文化が継承され、発展す ること。	42.5%	43.1%	47.4%	45.2%	53.5%
基本目標3	3 豊かな環境を創る	まちと自然環境の調和がとれていること。	66.8%	62.6%	65.0%	66.5%	64.1%
基本目標4	4 子どもたちを守り育む	子どもを安心して育てられる環境がある こと。	64.1%	64.5%	68.2%	66.1%	69.8%
基本目標5	5 健康で安心な暮らしを支える	保健、医療、福祉、健康などの生活環境 が整い暮らしやすいこと。	73.1%	65.3%	69.4%	68.4%	71.1%
基本目標6	6 地域経済を循環させる	産業の活力を高め、地域が元気になるこ と。	33.5%	30.4%	34.1%	38.6%	33.5%
基本目標7	7 都市基盤を充実する	移動や利用にあたり、誰でも利用できる 道路や施設であること。	66.0%	51.4%	54.0%	55.2%	56.5%
基本目標8	8 市民自治・地域づくりを進める	市民の意識が高く、市民参加型の地域 づくりが進んでいること。	43.7%	37.6%	42.8%	42.0%	40.2%
重点施策	1-1・1-2 災害に強いまちづくりの推進	地域で災害への備えができていると感 じますか？	13.1%	40.1%	43.4%	46.8%	47.6%
重点施策	1-3 消防・救急の充実強化	消防や救急の活動が充実していて、安 心できること。	—	84.3%	88.8%	87.9%	89.4%
重点施策	1-4 犯罪と交通事故のない、明るいまちづくりの推進	犯罪のない、明るいまちであること。	—	58.4%	61.6%	64.1%	62.6%
重点施策	1-5 公共施設の再整備の推進	公共施設を次世代のために、より良い状 態で引き継いでいると感じますか？	24.7%	28.5%	32.6%	32.4%	34.0%

区分	都市像・基本目標・重点施策	アンケート内容	2011 ポイント	2013 ポイント	2014 ポイント	2015 ポイント	2016 ポイント
重点施策	1-6 都市基盤の整備・充実	交通ネットワークが充実していると感じますか？	37.2%	52.5%	53.0%	53.6%	—
重点施策	1-6 都市基盤の整備・充実	道路が整備され、快適であること。	—	55.0%	56.1%	57.6%	—
重点施策	(新規)	交通が便利で移動しやすいこと。	—	—	—	—	69.8%
重点施策	1-6 都市基盤の整備・充実	市の北部の道路や住宅の整備について	—	22.0%	19.0%	18.9%	—
重点施策	1-6 都市基盤の整備・充実	橋や下水道の老朽化対策について	—	10.6%	12.0%	10.7%	11.8%
重点施策	2-1 都市拠点の活性化と新たなまちづくりの推進	駅をはじめとする都市の拠点の整備について	—	28.2%	29.6%	28.4%	29.8%
重点施策	2-1 都市拠点の活性化と新たなまちづくりの推進	駅をはじめとする都市の拠点の整備について	—	28.2%	29.6%	28.4%	29.8%
重点施策	2-1 都市拠点の活性化と新たなまちづくりの推進	市の北部の道路や住宅の整備について	—	22.0%	19.0%	18.9%	—
重点施策	(新規)	市の住宅や道路の整備について	—	—	—	—	19.6%
重点施策	2-2 市内商工業・農水産業・観光の活性化と雇用の促進	市内の商業に活力があると感じますか？	19.6%	37.2%	38.8%	41.0%	40.2%
重点施策	2-2 市内商工業・農水産業・観光の活性化と雇用の促進	市内の農水産業に活力があると感じますか？	16.1%	36.0%	38.8%	37.9%	33.7%
重点施策	2-2 市内商工業・農水産業・観光の活性化と雇用の促進	市内の観光に活力があると感じますか？	—	56.9%	59.6%	64.5%	61.2%
重点施策	2-2 市内商工業・農水産業・観光の活性化と雇用の促進	社会的弱者の方が快適に過ごせるまちであること。	32.4%	29.4%	34.8%	35.5%	37.2%
重点施策	2-2 市内商工業・農水産業・観光の活性化と雇用の促進	新しい産業の立地について	7.1%	14.6%	15.6%	16.4%	13.4%

区分	都市像・基本目標・重点施策	アンケート内容	2011 ポイント	2013 ポイント	2014 ポイント	2015 ポイント	2016 ポイント
重点施策	(新規)	2020年のオリンピックに向けて、活気づいてると感じますか？	—	—	—	—	12.4%
重点施策	2-3 多彩なシティプロモーションの推進	市民が自慢できるまちであること。	63.1%	60.6%	68.5%	72.4%	66.8%
重点施策	2-4 市民活動の支援と市民協働の推進	市民自らが藤沢を良くする活動に積極的であること。	38.4%	34.0%	39.7%	39.3%	—
重点施策	(新規)	ボランティアなどの活動が積極的に行われていること。	—	—	—	—	41.5%
重点施策	2-4 市民活動の支援と市民協働の推進	市民主体のまちづくり活動について	9.8%	18.6%	19.8%	18.2%	19.0%
重点施策	3-1 郷土文化資産の保全・活用の推進	豊かな地域の資源を大切にしていること。	44.4%	37.4%	42.7%	47.4%	52.0%
重点施策	3-1 郷土文化資産の保全・活用の推進	美しい街なみなど、市内の景観づくりについて	21.8%	27.2%	29.2%	31.4%	27.8%
重点施策	3-2 市民の文化芸術活動への支援	市内に文化的な魅力があると感じますか？	23.5%	48.0%	45.4%	49.2%	47.4%
重点施策	3-3 地域コミュニティ活動への支援	地域で支え合っていると感じますか？	23.7%	33.8%	39.6%	37.0%	39.0%
重点施策	3-3 地域コミュニティ活動への支援	自治会活動について	17.8%	23.5%	23.4%	25.3%	27.0%
重点施策	3-5 花と緑あふれる持続的な環境の保全	環境に配慮したゴミ処理がされていると感じますか？	—	76.4%	77.9%	77.4%	76.5%
重点施策	3-5 花と緑あふれる持続的な環境の保全	自然エネルギーが有効に活用されているまちであること。	—	17.3%	22.7%	22.4%	24.8%
重点施策	3-5 花と緑あふれる持続的な環境の保全	斜面緑地や樹木など緑の保全について	23.3%	27.2%	29.2%	31.4%	33.3%
重点施策	4-1 地域のニーズに即した子ども・子育て支援の充実	安心して子育てができる環境づくりについて	16.3%	29.0%	32.4%	34.4%	37.2%

区分	都市像・基本目標・重点施策	アンケート内容	2011 ポイント	2013 ポイント	2014 ポイント	2015 ポイント	2016 ポイント
重点施策	4-2 待機児童解消をはじめとする保育環境の充実	保育園の待機児童の解消について	—	11.0%	11.7%	9.9%	12.2%
重点施策	4-3 困難を有する子ども・若者の自立支援	住んでいる地域に誇りを持ち、地域で暮らしていること。	66.2%	60.2%	68.3%	69.3%	69.5%
重点施策	4-5 子どもたちの笑顔あふれる学校づくりの推進	個性豊かな児童生徒の育成について	9.4%	16.8%	18.4%	17.4%	15.4%
重点施策	4-5 子どもたちの笑顔あふれる学校づくりの推進	パソコンなどの情報機器を使った学校での教育活動が盛んなまちであること。	—	41.8%	44.5%	40.5%	41.0%
重点施策	4-5 子どもたちの笑顔あふれる学校づくりの推進	食事や食生活を意識した学校生活がなされていること。	—	62.1%	61.4%	61.4%	62.3%
重点施策	5-1 健康づくりの推進	健康づくりを支える環境が充実していると感じますか？	25.8%	41.4%	42.6%	42.8%	41.6%
重点施策	5-2 生きがいづくりの推進	生涯学習の機会や場の提供について	10.7%	20.4%	22.3%	20.3%	18.5%
重点施策	5-3 市民スポーツ活動の充実	スポーツ活動が充実していると感じますか？	—	44.4%	41.1%	43.7%	40.3%
重点施策	5-4 いつでも安心して受けられる医療の充実	いつでも安心して受けられる医療の充実について	30.4%	36.5%	36.7%	40.4%	40.7%
重点施策	5-5 一人ひとりを大切にした相談・支援体制の充実	福祉が充実し、子どもから高齢者まで守られていること。	44.3%	44.6%	50.5%	49.3%	48.5%
重点施策	5-6 住み慣れた地域における生活支援の充実	高齢者の在宅サービスについて	21.1%	18.7%	23.1%	21.8%	21.7%